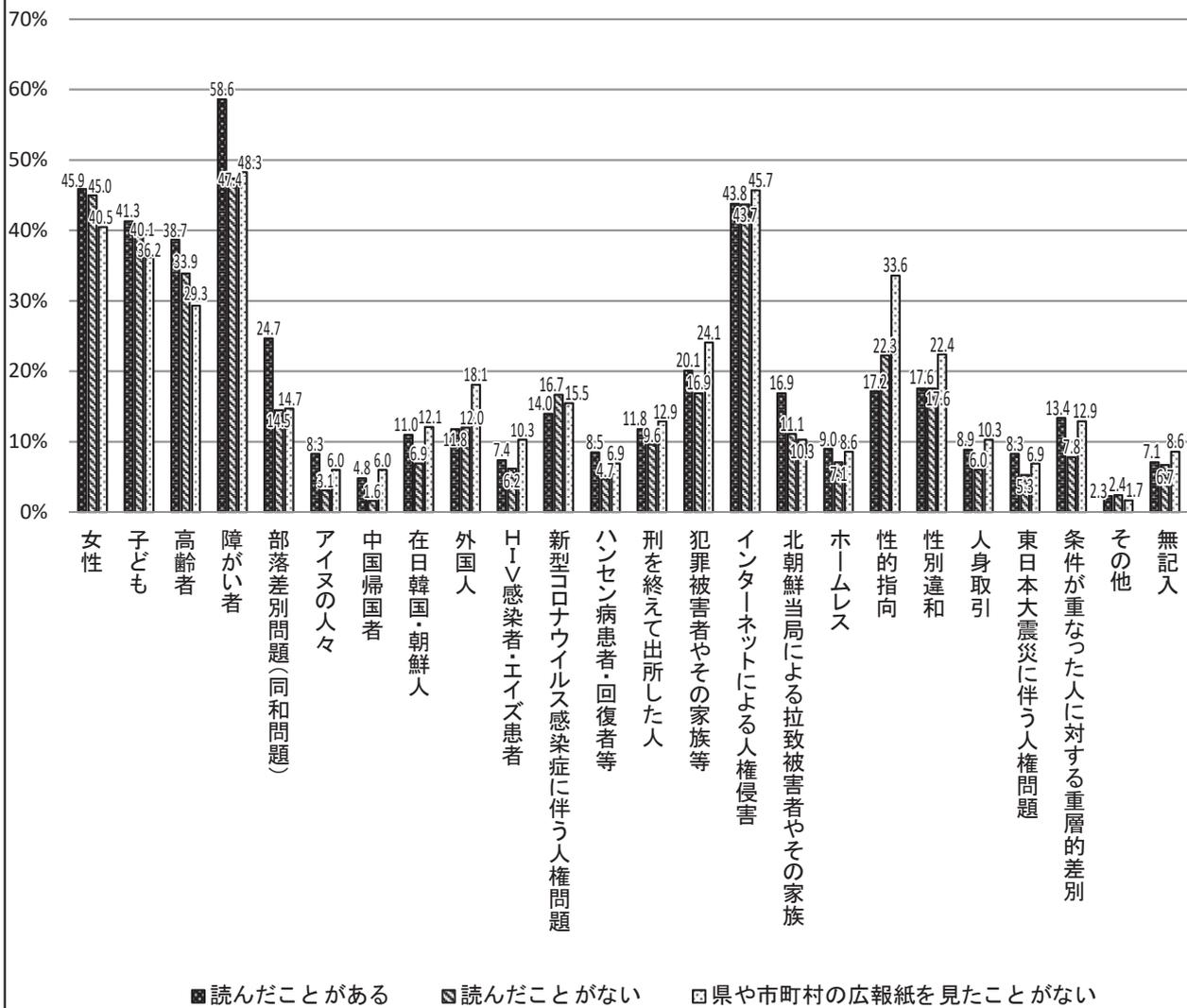


問1-7関心のある人権課題×職業

	女性	子ども	高齢者	障がい者	部落差別問題(同和問題)	アイヌの人々	中国帰国者	在日韓国・朝鮮人	外国人	HIV感染者・エイズ患者	新型コロナウイルス感染症に伴う人権問題	ハンセン病患者・回復者等	刑を終えて出所した人	犯罪被害者やその家族等	インターネットによる人権侵害	北朝鮮当局による拉致被害者やその家族	ホームレス	性的指向	性別違和	人身取引	東日本大震災に伴う人権問題	条件が重なるた人に対する重層的差別	その他	無記入
自営業	39.5	36.9	29.3	49.7	26.1	8.3	4.5	11.5	9.6	9.6	15.3	9.6	11.5	21.7	42.0	17.2	13.4	14.0	10.2	12.1	8.3	10.2	4.5	5.7
企業・正社員	52.6	50.3	31.9	55.8	19.0	6.1	4.2	9.7	13.2	7.4	17.1	4.5	11.3	24.5	51.3	12.3	8.4	28.1	20.0	5.8	6.8	8.4	1.9	3.9
契約社員・派遣社員	41.9	41.9	32.6	48.8	14.0	7.0	4.7	7.0	7.0	4.7	16.3	7.0	7.0	16.3	48.8	16.3	2.3	18.6	23.3	2.3	4.7	18.6	2.3	16.3
公務員	46.2	47.7	36.9	55.4	29.2	10.8	6.2	20.0	23.1	9.2	13.8	16.9	9.2	20.0	61.5	15.4	13.8	30.8	24.6	9.2	6.2	16.9	1.5	3.1
教職員	61.1	61.1	44.4	72.2	58.3	19.4	8.3	16.7	33.3	25.0	36.1	13.9	13.9	33.3	55.6	13.9	11.1	55.6	44.4	11.1	16.7	22.2	5.6	2.8
臨時、パート、アルバイト	53.4	41.6	31.7	53.8	16.7	4.1	2.7	7.2	12.2	5.4	15.8	6.8	15.4	19.0	52.5	11.8	6.8	22.6	24.4	12.7	5.9	13.6	2.7	5.4
家事専業	43.1	36.5	46.5	53.5	13.5	4.6	4.6	6.9	8.8	6.9	10.4	6.9	8.8	15.4	34.2	18.1	6.5	12.3	13.5	6.5	8.5	11.9	1.2	10.8
無職	24.4	27.5	43.8	50.6	20.0	5.6	1.9	11.3	10.6	6.3	16.9	5.0	9.4	13.8	27.5	13.8	7.5	12.5	12.5	6.3	4.4	12.5	1.9	10.0
学生	55.9	32.4	8.8	47.1	20.6	2.9	-	5.9	32.4	-	11.8	5.9	14.7	17.6	47.1	2.9	14.7	32.4	23.5	2.9	8.8	5.9	2.9	5.9
その他	35.4	30.4	43.0	55.7	24.1	6.3	2.5	8.9	7.6	2.5	3.8	3.8	8.9	13.9	31.6	20.3	5.1	5.1	7.6	6.3	7.6	6.3	1.3	15.2

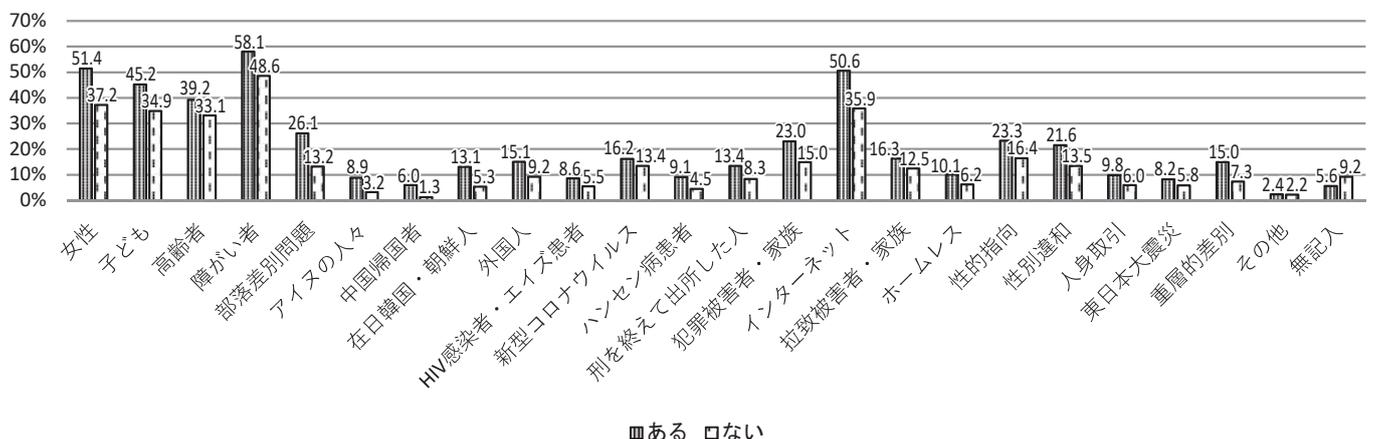
「部落差別問題(同和問題)」では、教職員 58.3%、公務員 29.2%が高くなっています。「アイヌの人々」は、教職員 19.4%、公務員 10.8%となっています。「在日韓国・朝鮮人」は、公務員 20.0%、教職員 16.7%となっています。「外国人」は、教職員 33.3%、学生 32.4%、公務員 23.1%が高くなっています。「HIV(エイズウイルス)感染者・エイズ患者」は、教職員 25.0%が高くなっています。「ハンセン病患者・回復者等」は、公務員 16.9%、教職員 13.9%となっています。「犯罪被害者やその家族」は、教職員 33.3%が高くなっています。「性的指向(同性愛、両性愛、無性愛)」は、教職員 55.6%、学生 32.4%、公務員 30.8%と高くなっています。「東日本大震災に伴う人権問題」は、教職員 16.7%が高くなっています。

問1-7 関心のある人権課題 × 問1-9 行政広報紙の人権に関する記事を読んだことがあるか



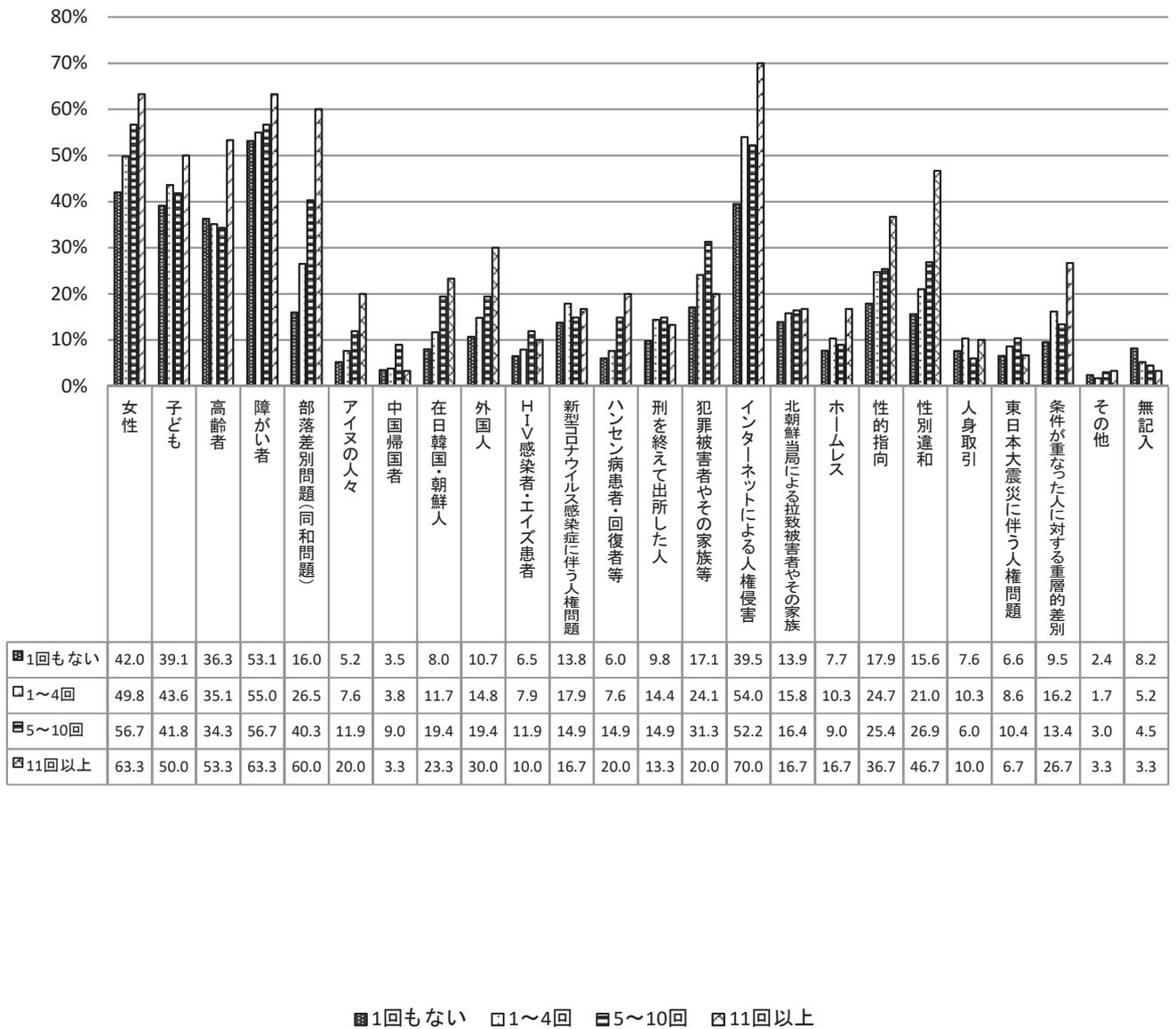
「障がい者」では、人権関連記事を読んだことがある人では 58.6%と高く、読んだことがない人では 47.4%、広報紙を見たことがない人では 48.3%と低くなっています。「中国帰国者(中国残留邦人)」では、人権関連記事を読んだことがある人では 4.8%と高く、読んだことがない人では 1.6%と低く、広報紙を見たことがない人では 6.0%と高くなっています。「性的指向(同性愛、両性愛、無性愛)」では、人権関連記事を読んだことがある人では 17.2%と低く、読んだことがない人では 22.3%と低く、広報紙を見たことがない人では 33.6%と高くなっています。

問1-7 関心のある人権課題 × 問1-10 人権に関する映画やテレビの視聴有無



「障がい者」では、人権に関する映画やビデオ、テレビ番組、ラジオ放送を視聴したことがある人で 58.1%、ない人で 48.6%、「部落差別問題(同和問題)」では視聴したことがある人で 26.1%、ない人で 13.2%、「アイヌの人々」では視聴したことがある人で 8.9%、ない人で 3.2%、「中国帰国者(中国残留邦人)」では視聴したことがある人で 6.0%、ない人で 1.3%、「在日韓国・朝鮮人」では視聴したことがある人で 13.1%、ない人で 5.3%、「ハンセン病患者・回復者等」では視聴したことがある人で 9.1%、ない人で 4.5%、「犯罪被害者やその家族」では視聴したことがある人で 23.0%、ない人で 15.0%、「インターネットによる人権侵害」では視聴したことがある人で 50.6%、ない人で 35.9%となっています。

問1-7 関心のある人権課題 × 問1-11 人権に関する講演会や研修・学習会等への参加回数



「部落差別問題(同和問題)」では人権に関する講演会や研修・学習会等への参加が 11 回以上で 60.0%、5~10 回で 40.3%、1~4 回で 26.5%、1 回もないで 16.0%となっています。「在日韓国・朝鮮人」では、11 回以上 23.3%、5~10 回で 19.4%、1~4 回で 11.7%、1 回もないでは 8.0%となっています。「ハンセン病患者・回復者等」では、11 回以上 20.0%、5~10 回で 14.9%、1~4 回で 7.6%、1 回もないでは 6.0%となっています。「インターネットによる人権侵害」では、11 回以上 70.0%、5~10 回で 52.2%、1~4 回で 54.0%、1 回もないでは 39.5%となっています。「性別違和(身体の性と心の性が一致しない者・トランスジェンダー)」では、11 回以上 46.7%、5~10 回で 26.9%、1~4 回で 21.0%、1 回もないでは 15.6%となっています。

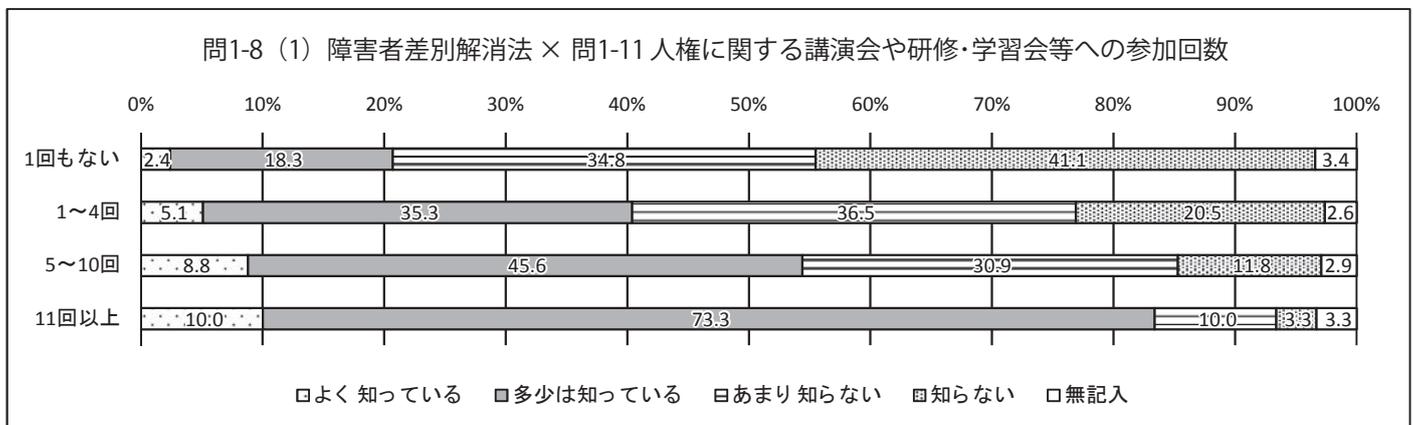
## 問 1-8 次にあげる(1)～(4)の法律や条例をどの程度ご存じですか

### (1)障害者差別解消法

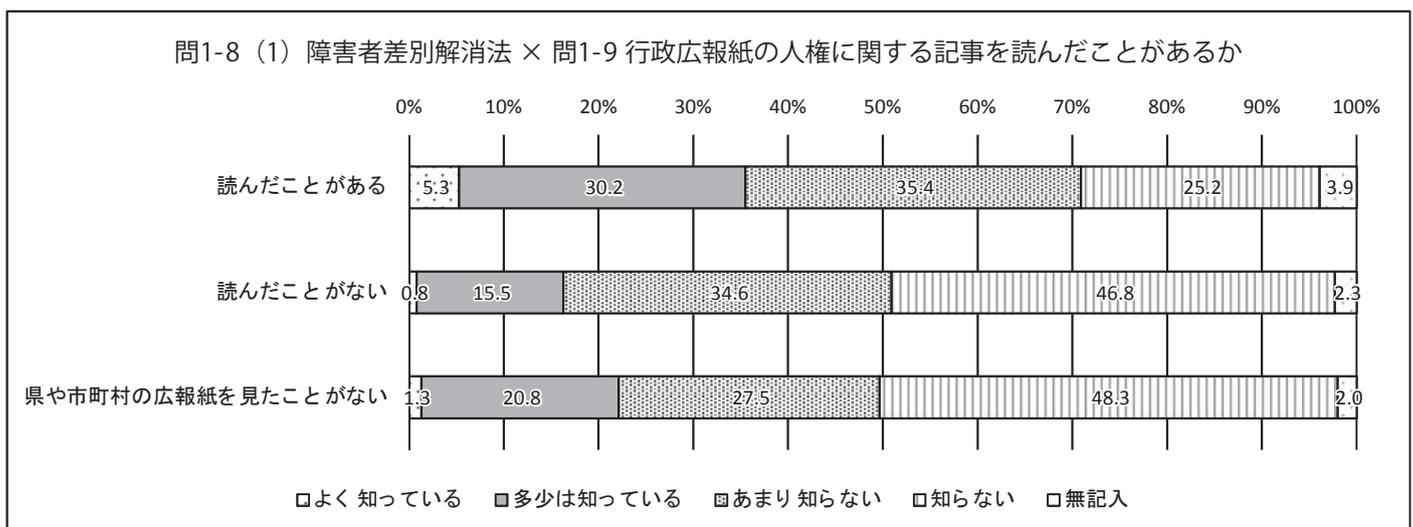
No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	よく知っている	51	3.3	3.5
2	多少は知っている	369	24.0	25.0
3	あまり知らない	524	34.0	35.5
4	知らない	530	34.4	36.0
	無記入	65	4.2	
	N (%ベース)	1,539	100	1,474

「あなたは、次にあげる法律や条例をどの程度ご存じですか。」の(1)「障害者差別解消法(障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律)(平成 28 年)」について、「よく知っている」51 人 3.3%(3.5%)、「多少は知っている」369 人 24.0%(25.0%)、「あまり知らない」524 人 34.0%(35.5%)、「知らない」530 人 34.4%(36.0%)、「無記入」65 人 4.2%、となっています。( )内は無記入を除く%です。

多重相関は 0.453 でかなり関連が高く、有意なモデルです。10 の説明変数すべて有意です。この中でもっとも関連が高いのは人権に関する講演会や研修会等への参加です。次いで、広報紙の人権に関する記事を読んだことがあるか、人権関連の映画・テレビ・ビデオ・ラジオの視聴、大学(短大・高専)での人権教育となっています。

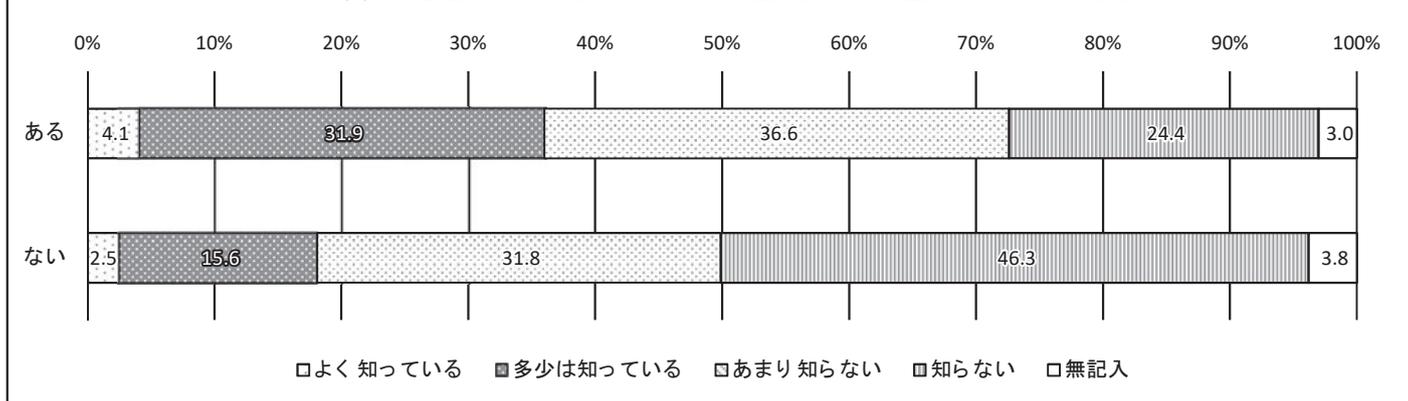


講演会や研修会への参加が 11 回以上で「よく知っている」10.0%と高く、「多少は知っている」も 73.3%と高くなっています。参加回数が多いほど「よく知っている」「多少は知っている」が高くなっています。1 回もないで「知らない」が 41.1%と高くなっています。参加回数が少ないほど「あまり知らない」「知らない」が高くなっています。



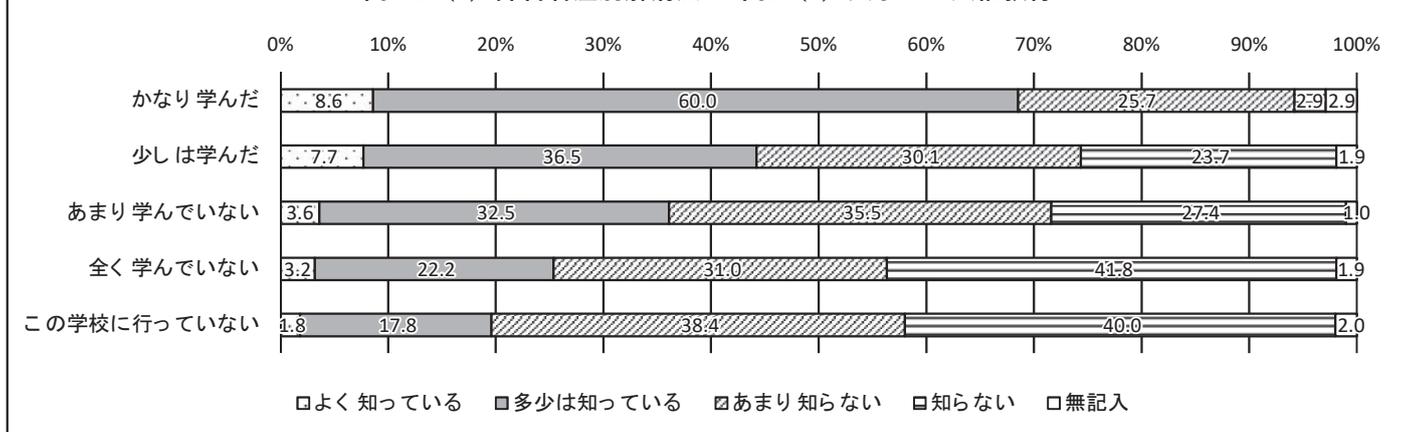
県や市町村の広報紙の人権関連記事を読んだことがある人で、「よく知っている」が 5.3%、「多少は知っている」が 30.2%と高く、「知らない」は 25.2%と低くなっています。読んだことがない人で「よく知っている」が 0.8%と低く、「多少は知っている」も 15.5%と低くなっています。「知らない」が 46.8%と多くなっています。広報紙を見たことがない人で「知らない」が 48.3%と高くなっています。

問1-8 (1) 障害者差別解消法 × 問1-10 人権に関する映画やテレビの視聴有無



人権関係の映画・テレビ・ビデオ・ラジオを視聴したことがある人で、「多少は知っている」が31.9%と高く、「知らない」が24.4%と低くなっています。視聴したことがない人で「多少は知っている」が15.6%と低く、「知らない」が46.3%と高くなっています。

問1-8 (1) 障害者差別解消法 × 問9 (4) 大学での人権教育



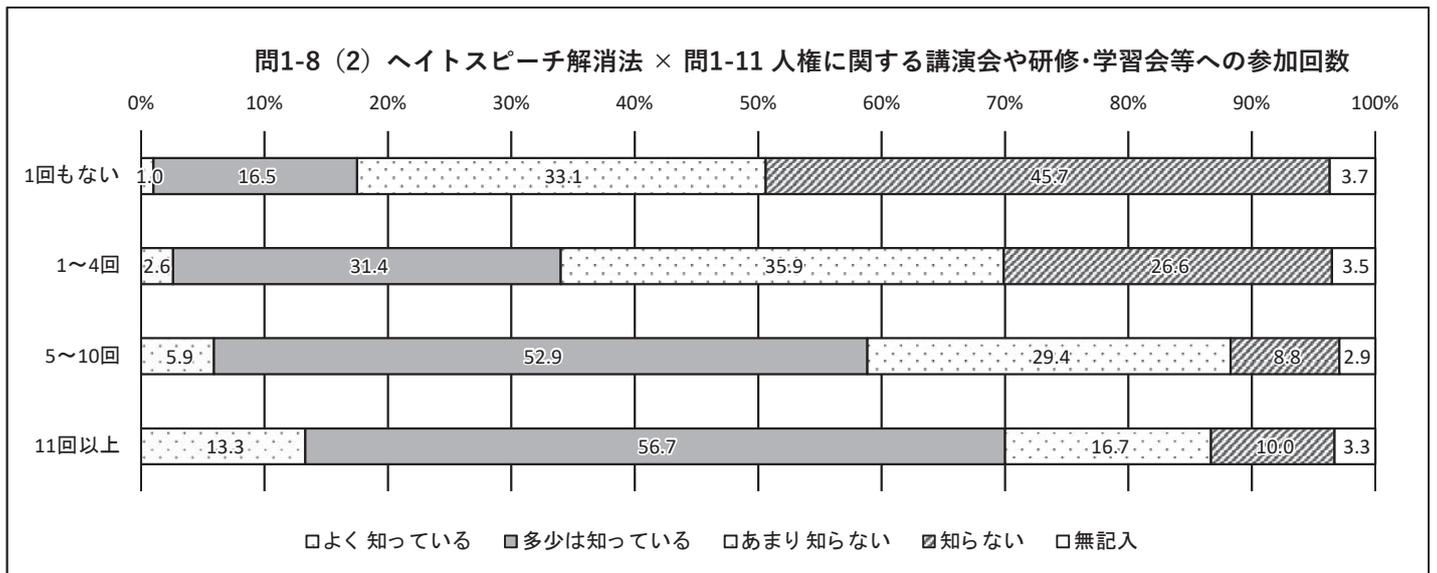
大学(短大・高専)等での人権教育をかなり学んだ人で「よく知っている」が8.6%と高く、「多少は知っている」も60.0%と高くなっています。全く学んでいない人で「知らない」が41.8%と高くなっています。この学校に行っていない人で「よく知っている」1.8%、「多少は知っている」17.8%と低く、「あまり知らない」38.4%、「知らない」が40.0%と高くなっています。

## (2) ヘイトスピーチ解消法

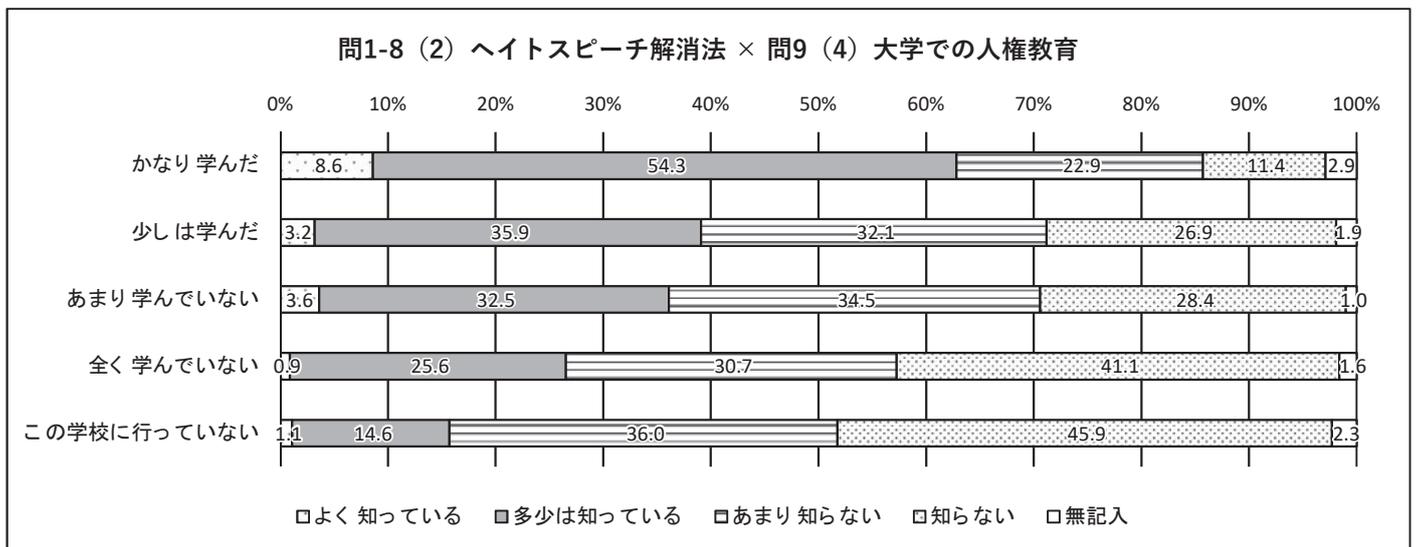
No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	よく知っている	27	1.8	1.8
2	多少は知っている	338	22.0	23.0
3	あまり知らない	504	32.7	34.3
4	知らない	600	39.0	40.8
	無記入	70	4.5	
	N (%ベース)	1,539	100	1,469

「あなたは、次にあげる法律や条例をどの程度ご存じですか。」の(2)「ヘイトスピーチ解消法(本邦外出身者に対する不当な差別的言動の解消に向けた取組の推進に関する法律)(平成28年)」について、「よく知っている」27人1.8%(1.8%)、「多少は知っている」338人22.0%(23.0%)、「あまり知らない」504人32.7%(34.3%)、「知らない」600人39.0%(40.8%)、「無記入」70人4.5%となっています。( )内は無記入を除く%です。

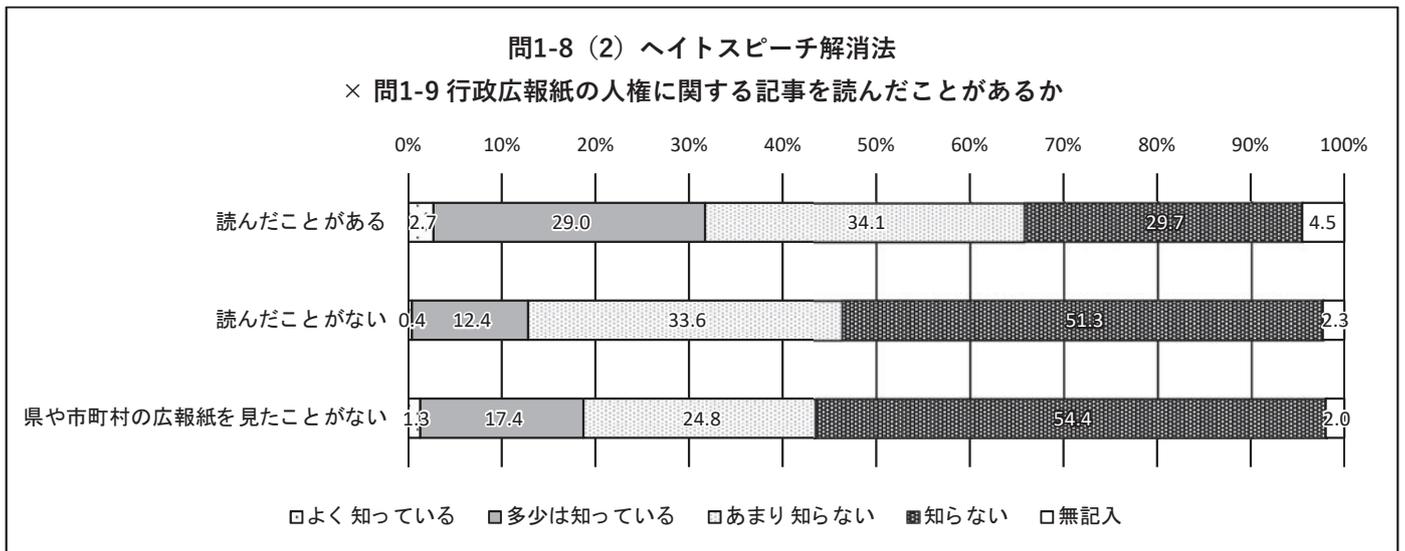
多重相関は0.461でかなり関連が高く、有意なモデルです。10の説明変数のうち⑦小学校での人権教育を除くすべてで有意です。この中で関連性が高いのは、人権に関する講演会や研修会等への参加と、大学(短大・高専)での人権教育、次いで、広報紙の人権に関する記事を読んだことがあるか、人権に関する映画やビデオ、テレビ、ラジオの視聴となっています。



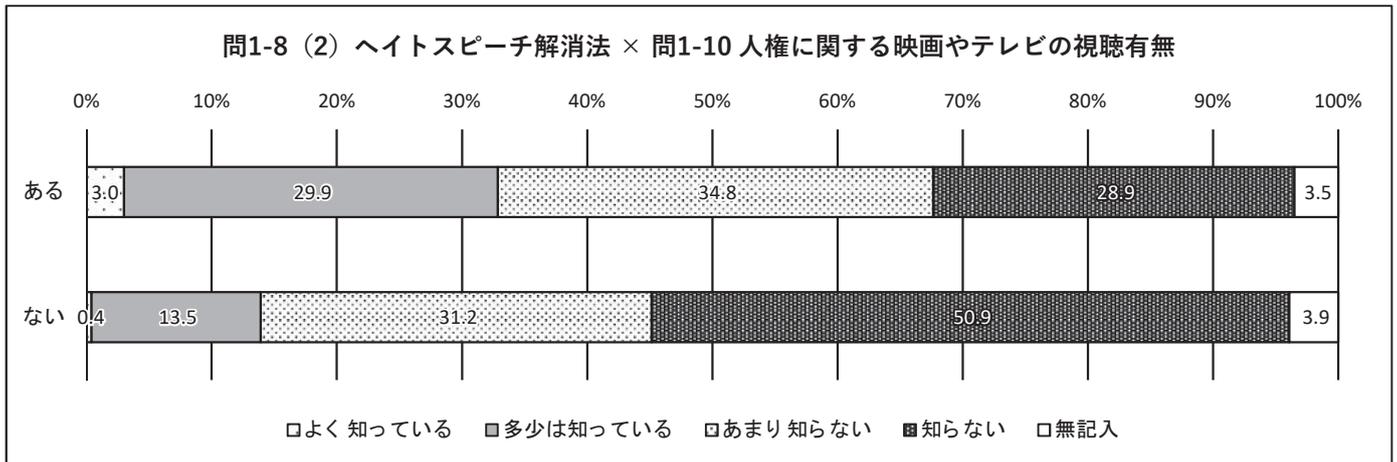
人権関係の講演会や研修会にこの5年間に11回以上参加した人では、「よく知っている」が13.3%、「多少は知っている」が56.7%と高く、「あまり知らない」が16.7%と「知らない」10.0%と低くなっています。1回もない人で「よく知っている」が1.0%、「多少は知っている」が16.5%と低く、「知らない」が45.7%と高くなっています。



大学(短大・高専)での人権教育をかなり学んだ人で、「よく知っている」が8.6%、「多少は知っている」が54.3%と高く、「知らない」11.4%と低くなっています。少しは学んだ人で、「多少は知っている」が35.9%と高く、「知らない」が26.9%と低くなっています。あまり学んでいない人でも、「多少は知っている」が32.5%と高く、「知らない」が28.4%と低くなっています。この学校に行っていない人で、「多少は知っている」が14.6%と低く、「知らない」が45.9%と高くなっています。



県や市町村の広報紙の人権関連記事をこの5年間で読んだことのある人で、「よく知っている」2.7%と高く、「多少は知っている」が29.0%と高くなっています。「知らない」は29.7%と低くなっています。読んだことがない人では、「よく知っている」が0.4%、「多少は知っている」が12.4%と低く、「知らない」は51.3%と高くなっています。県や市町村の広報紙を見たことがない人では、「知らない」は54.4%と高くなっています。



この5年間で人権関連の映画・テレビ・ビデオ・ラジオを視聴したことのある人では、「よく知っている」3.0%、「多少は知っている」29.9%と高くなっています。「知らない」は28.9%と低くなっています。視聴したことのない人では、「よく知っている」0.4%、「多少は知っている」13.5%と低くなっています。「知らない」は50.9%と高くなっています。

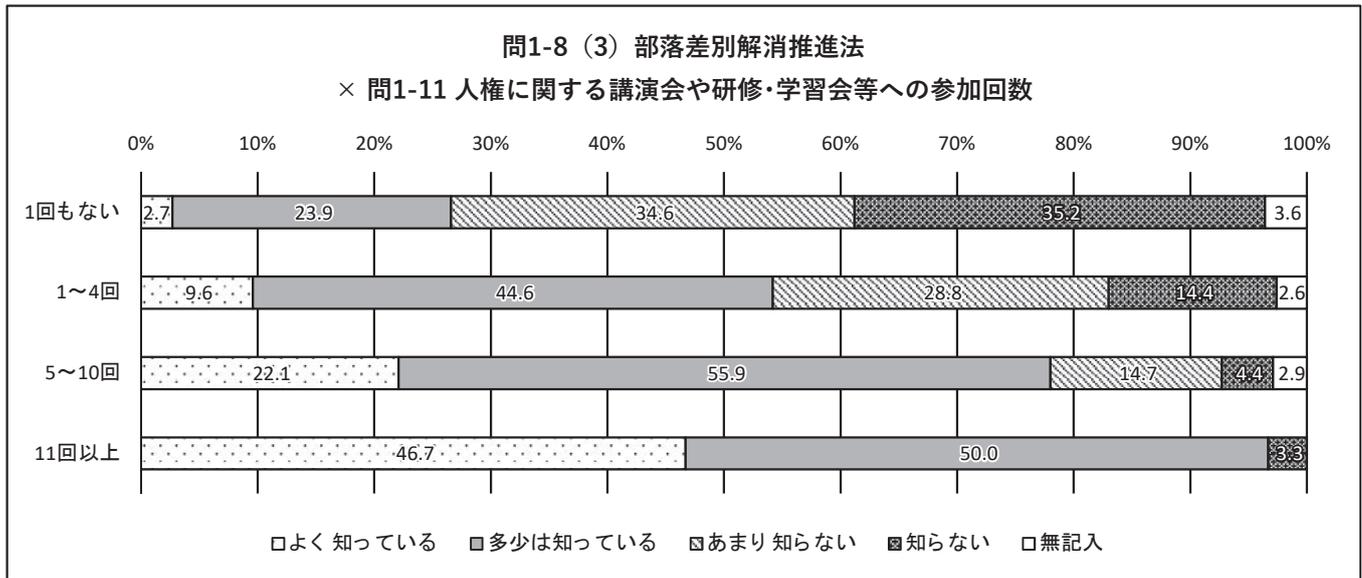
### (3) 部落差別解消推進法

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%	前回調査
1	よく知っている	90	5.8	6.1	2.6
2	多少は知っている	459	29.8	31.1	14.1
3	あまり知らない	484	31.4	32.8	30.2
4	知らない	441	28.7	29.9	50.2
	無記入	65	4.2		3.0
	N (%ベース)	1,539	100	1,474	1,996

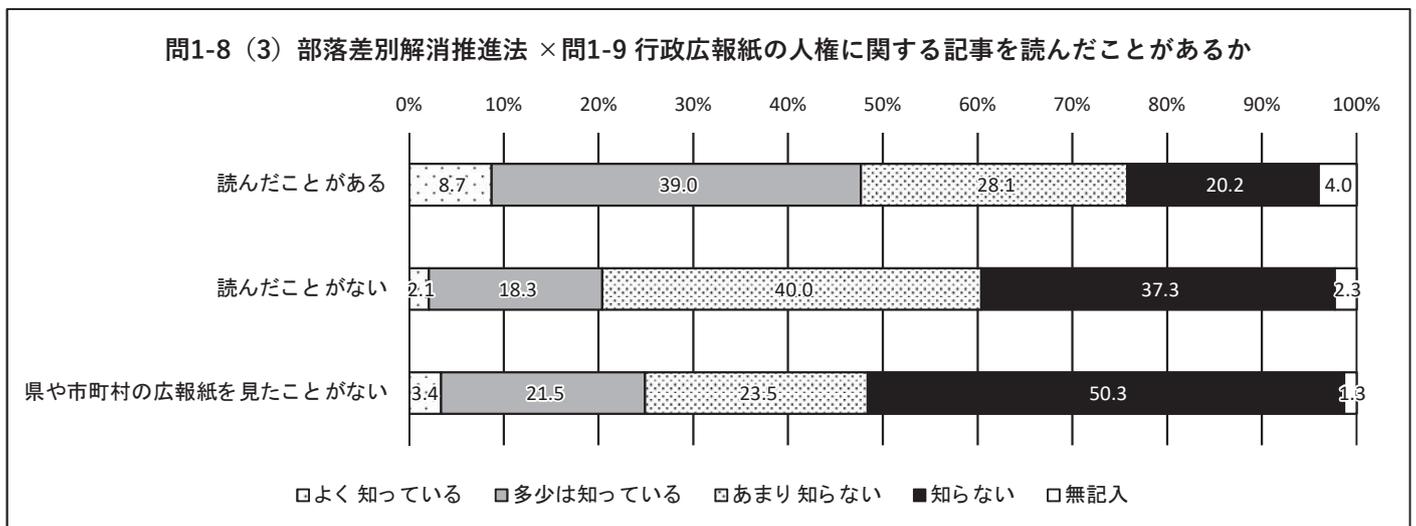
「あなたは、次にあげる法律や条例をどの程度ご存じですか。」の(3)「部落差別解消推進法(部落差別の解消の推進に関する法律)(平成28年)」について、「よく知っている」90人5.8%(6.1%)、「多少は知っている」459人29.8%(31.1%)、「あまり知らない」484人31.4%(32.8%)、「知らない」441人28.7%(29.9%)、「無記入」65人4.2%、となっています。( )内は無記入を除く%です。

前回調査と比べ、「多少は知っている」が15.7%高くなり、「知らない」が21.5%低くなっています。

多重相関は 0.521 でかなり関連が高く、有意なモデルです。高校での人権教育を除く 9 説明変数で有意です。この中で関連性が高いのは、人権に関する講演会や研修・学習会等への参加です。次いで、広報紙の人権に関する記事を読んだことがあるか、大学(短大・高専を含む)での人権教育、人権に関する映画やビデオ、テレビ、ラジオの視聴となっています。

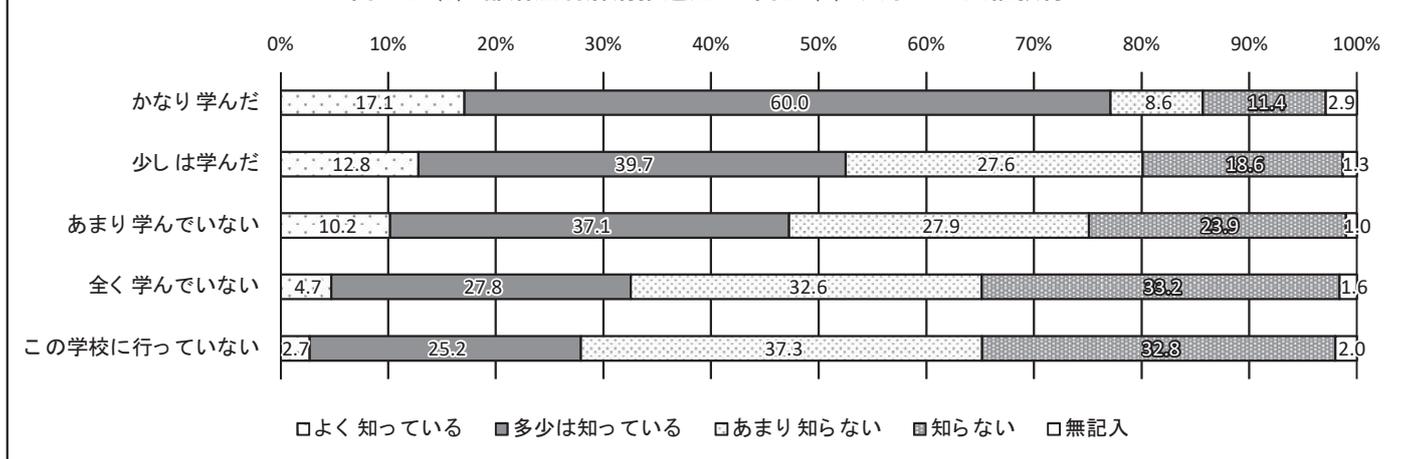


人権に関する講演会や研修・学習会等へ 11 回以上参加した人で、「よく知っている」46.7%、「多少は知っている」50.0%と高く、「あまり知らない」0%、「知らない」3.3%と低くなっています。1 回もない人で「よく知っている」2.7%、「多少は知っている」23.9%と低く、「あまり知らない」34.6%、「知らない」35.2%と高くなっています。5~10 回参加した人で、「よく知っている」22.1%、「多少は知っている」55.9%と高く、「知らない」4.4%と低くなっています。明確な関連がグラフからわかります。



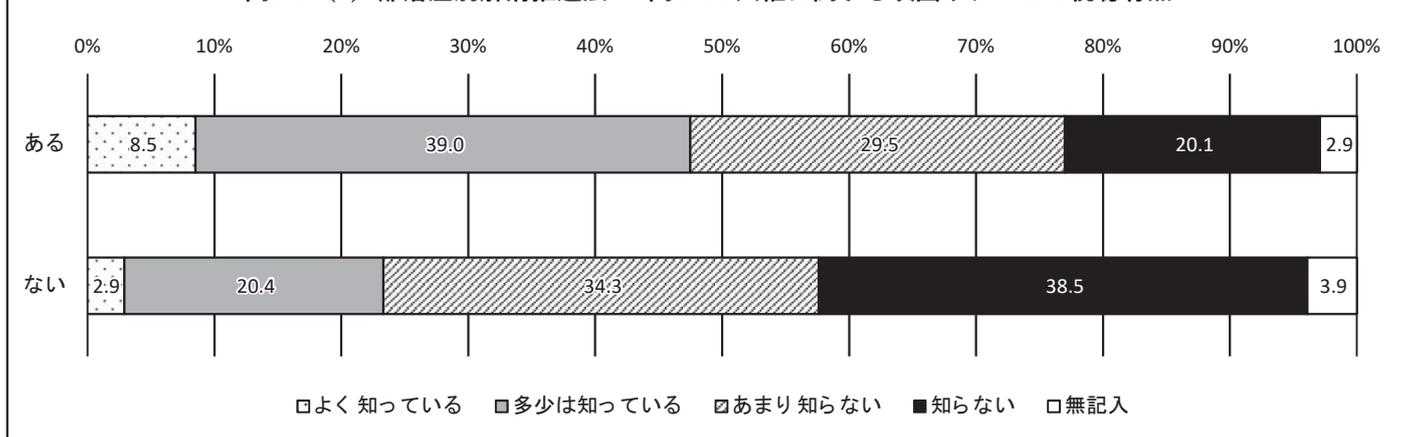
広報紙の人権に関する記事を読んだことがある人で、「よく知っている」8.7%、「多少は知っている」39.0%と高く、「あまり知らない」28.1%、「知らない」20.2%と低くなっています。読んだことがない人で、「よく知っている」2.1%、「多少は知っている」18.3%と低く、「あまり知らない」40.0%、「知らない」37.3%と高くなっています。県や市町村の広報紙を見たことがない人で、「知らない」50.3%と高くなっています。

問1-8 (3) 部落差別解消推進法 × 問9 (4) 大学での人権教育



大学(短大・高専を含む)での人権教育をかなり学んだ人で、「よく知っている」17.1%、「多少は知っている」60.0%と高く、「あまり知らない」8.6%、「知らない」11.4%と低くなっています。少しは学んだ、あまり学んでいない人でも「よく知っている」、「多少は知っている」が高くなっています。全く学んでいない人で、「よく知っている」4.7%、「多少は知っている」27.8%と低く、「あまり知らない」32.6%、「知らない」33.2%と高くなっています。

問1-8 (3) 部落差別解消推進法 × 問1-10 人権に関する映画やテレビの視聴有無



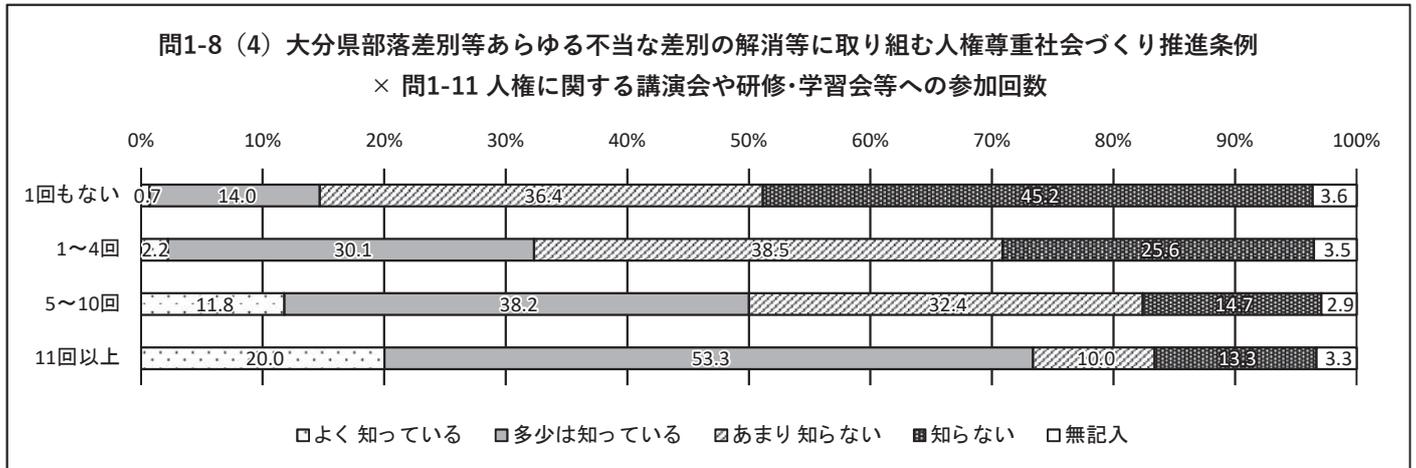
人権に関する映画やビデオ、テレビ番組、ラジオ放送を視聴したことがある人で、「よく知っている」8.5%、「多少は知っている」39.0%と高く、「知らない」20.1%と低くなっています。視聴したことがない人で、「よく知っている」2.9%、「多少は知っている」20.4%と低く、「あまり知らない」34.3%、「知らない」38.5%と高くなっています。

#### (4) 大分県部落差別等あらゆる不当な差別の解消等に取り組む人権尊重社会づくり推進条例

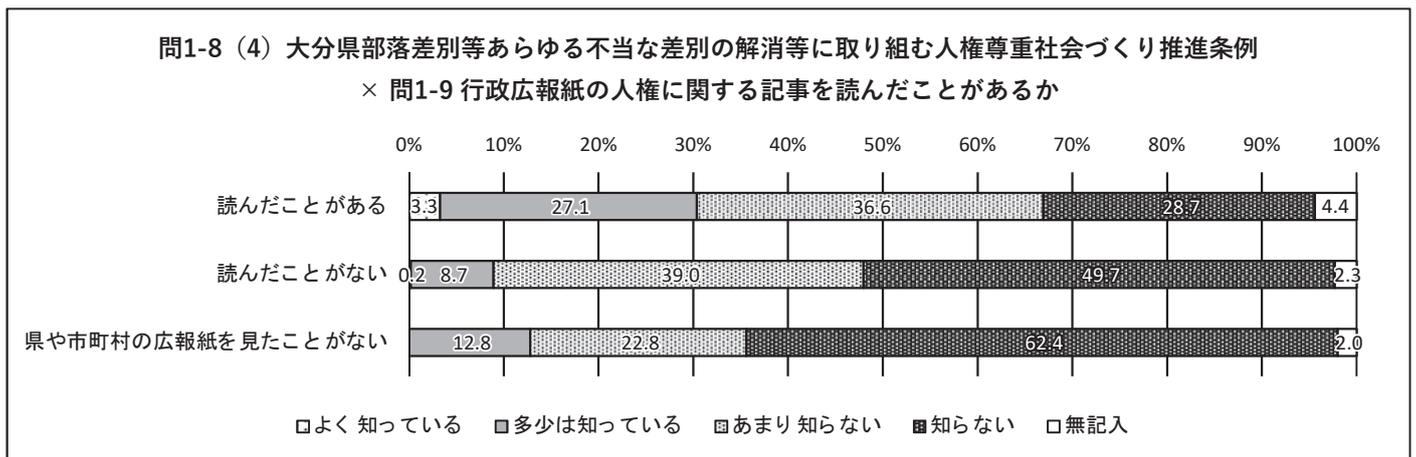
No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	よく知っている	29	1.9	2.0
2	多少は知っている	296	19.2	20.1
3	あまり知らない	549	35.7	37.3
4	知らない	596	38.7	40.5
	無記入	69	4.5	
	N (%ベース)	1,539	100	1,470

「あなたは、次にあげる法律や条例をどの程度ご存じですか。」の(4)「大分県部落差別等あらゆる不当な差別の解消等に取り組む人権尊重社会づくり推進条例(平成21年)」について、「よく知っている」29人 1.9%(2.0%)、「多少は知っている」296人 19.2%(20.1%)、「あまり知らない」549人 35.7%(37.3%)、「知らない」596人 38.7%(40.5%)、「無記入」69人 4.5%、となっています。( )内は無記入を除く%です。

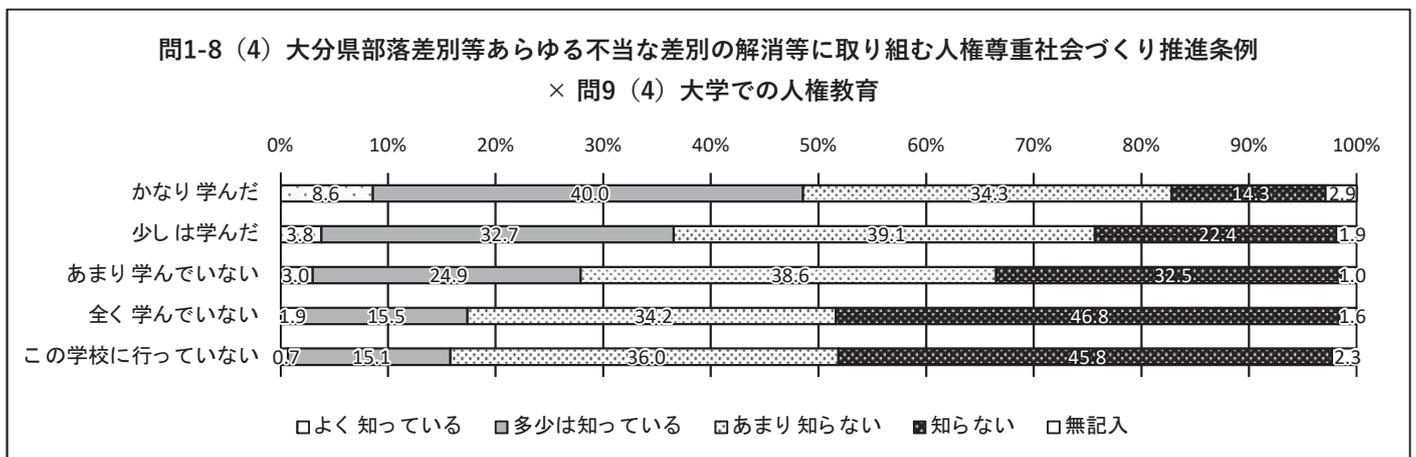
多重相関は 0.490 でかなり関連が高く、有意なモデルです。①性別を除く 9 説明変数で有意です。この中で関連性が高いのは⑥人権に関する講演会や研修・学習会等への参加です。次いで、④広報紙の人権に関する記事を読んだことがあるか、⑩大学(短大・高専を含む)での人権教育、⑤人権に関する映画やビデオ、テレビ番組、ラジオ放送の視聴となっています。



人権に関する講演会や研修・学習会等へ 11 回以上参加した人で、「よく知っている」20.0%、「多少は知っている」53.3%と高く、「あまり知らない」10.0%、「知らない」13.3%と低くなっています。5~10 回参加した人でも、「よく知っている」11.8%、「多少は知っている」38.2%と高く、「知らない」14.7%と低くなっています。1 回も参加したことがない人で、「よく知っている」0.7%、「多少は知っている」14.0%と低く、「知らない」45.2%と高くなっています。

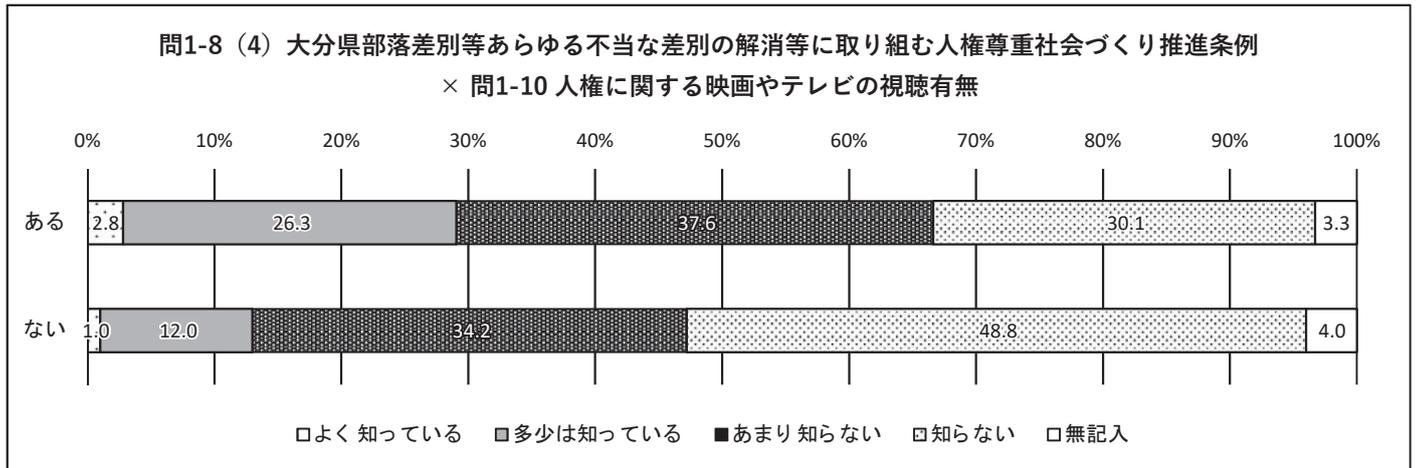


広報紙の人権に関する記事を読んだことがある人で、「よく知っている」3.3%、「多少は知っている」27.1%と高く、「知らない」28.7%と低くなっています。読んだことがない人で、「よく知っている」0.2%、「多少は知っている」8.7%と低く、「知らない」49.7%と高くなっています。県や市町村の広報紙を見たことがない人で、「知らない」62.4%と高くなっています。



大学(短大・高専を含む)での人権教育をかなり学んだ人で、「よく知っている」8.6%、「多少は知っている」40.0%と高く、「知らない」14.3%と低くなっています。少しは学んだ人で、「多少は知っている」32.7%と高く、「知らない」22.4%と低く

なっています。全く学んでいない人で、「多少は知っている」15.5%と低く、「知らない」46.8%と高くなっています。この学校に行っていない人で、「よく知っている」0.7%、「多少は知っている」15.1%と低く、「知らない」45.8%と高くなっています。



人権に関する映画やビデオ、テレビ番組、ラジオ放送を視聴したことがある人で、「よく知っている」2.8%、「多少は知っている」26.3%と高く、「知らない」30.1%と低くなっています。視聴したことがない人で、「よく知っている」1.0%、「多少は知っている」12.0%と低く、「知らない」48.8%と高くなっています。

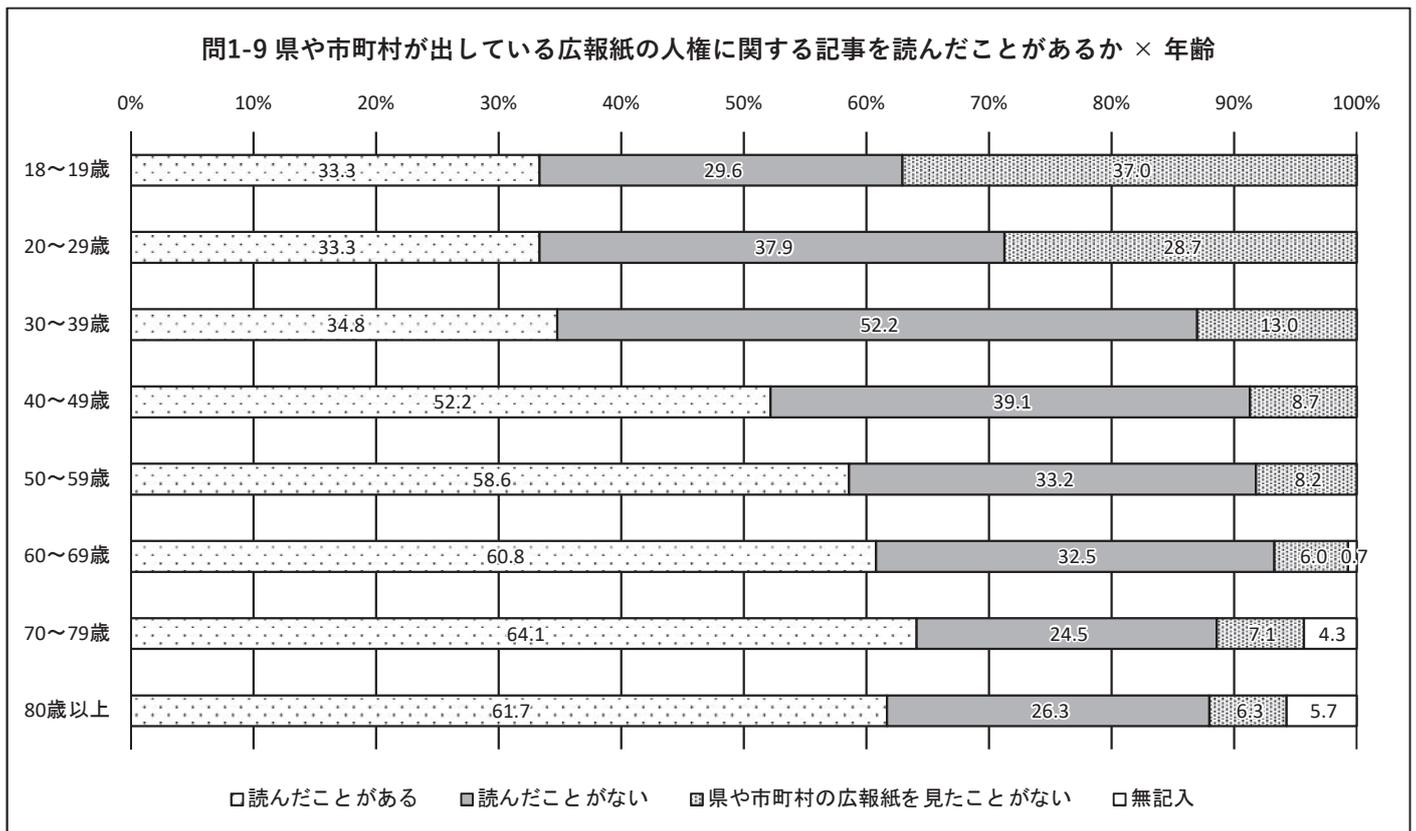
### 問 1-9 この 5 年間で、県や市町村が出している広報紙の、人権に関する記事を読んだことがありますか

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%	前回調査
1	読んだことがある	848	55.1	56.1	63.8
2	読んだことがない	515	33.5	34.1	26.5
3	県や市町村の広報紙を見たことがない	149	9.7	9.9	5.2
	無記入	27	1.8		4.6
	N (%ベース)	1,539	100	1,512	1,996

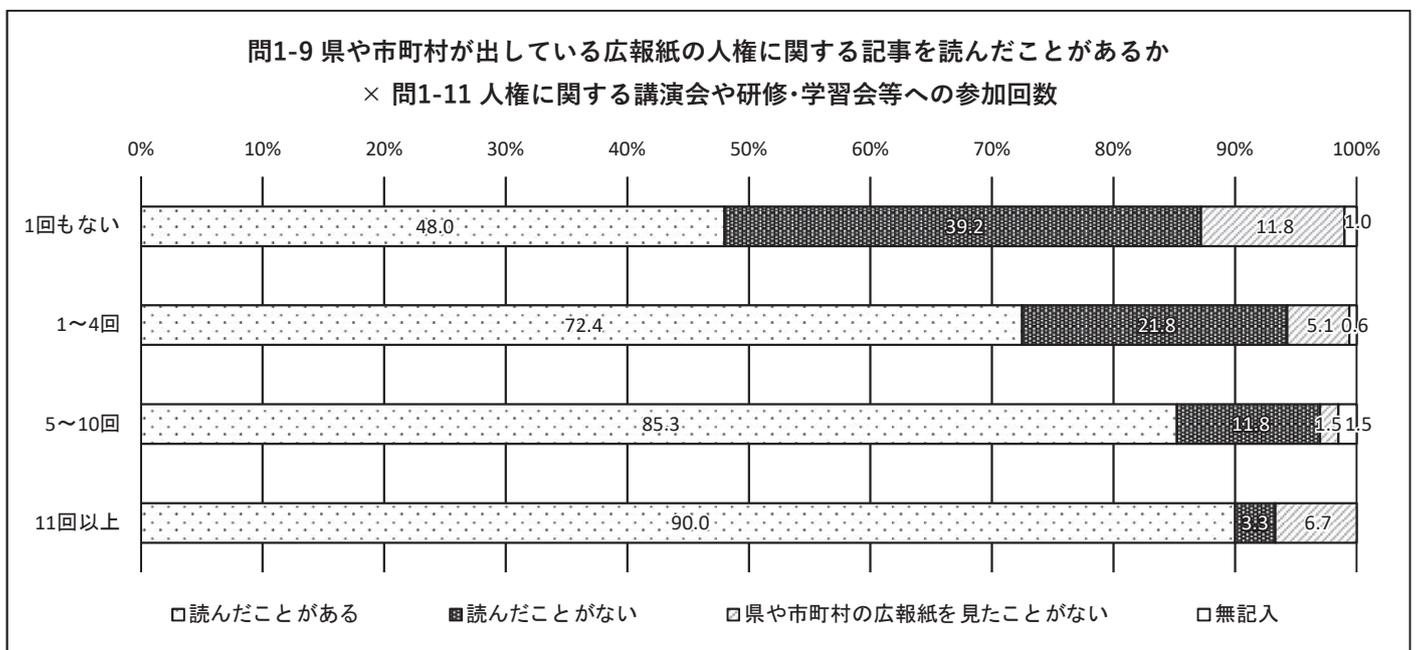
「県や市町村が出している広報紙に、人権に関する記事が掲載されることがあります。あなたはこの 5 年間でそのような記事を読んだことがありますか。」について、「読んだことがある」848 人 55.1% (56.1%)、「読んだことがない(または、そのような記事は見たことがない)」515 人 33.5% (34.1%)、「県や市町村の広報紙を見たことがない」149 人 9.7% (9.9%)、「無記入」27 人 1.8%、となっています。

前回調査と比べ、「読んだことがない(または、そのような記事は見たことがない)」が 7.0%・「県や市町村の広報紙を見たことがない」が 4.5%高くなり、「読んだことがある」が 8.7%・「無記入」が 2.8%低くなっています。( )内は無記入を除く%です。

10 の説明変数から、この問 1-9 を除く、9 の説明変数で分析します。多重相関は 0.499 でかなり関連が高く、有意なモデルです。9 の説明変数すべて有意です。この中で関連性が高いのは、年齢、人権に関する講演会や研修会等への参加です。ついで、人権関連の映画・テレビ・ビデオ・ラジオの視聴、職業となっています。



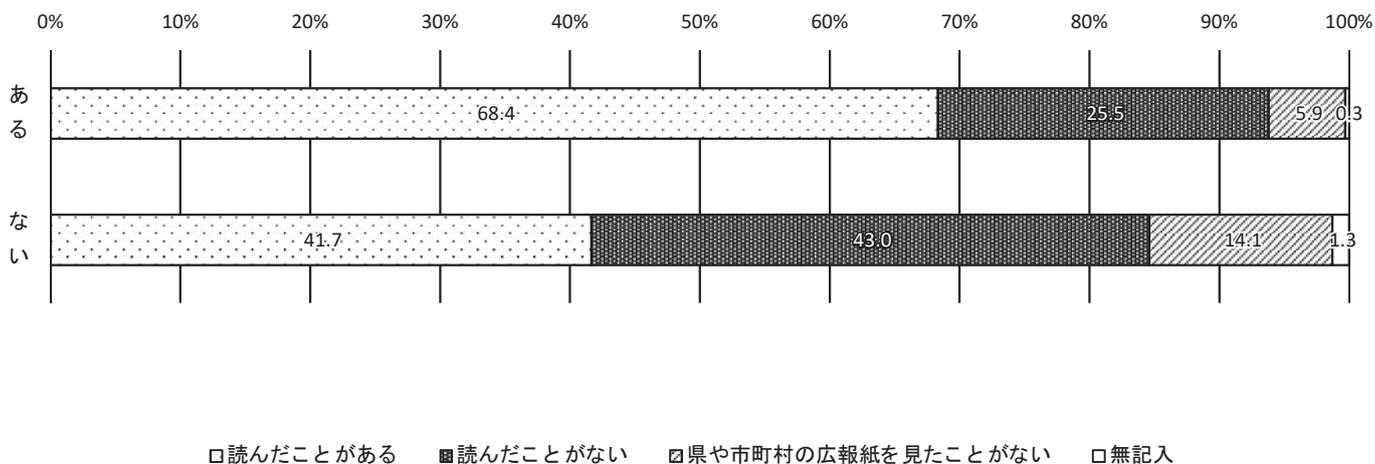
70歳代では、「読んだことがある」64.1%と高く、「読んだことがない」24.5%と低くなっています。80歳以上でも、「読んだことがある」61.7%と高くなっています。60歳代では「読んだことがある」60.8%と高くなっています。30歳代では、「読んだことがある」34.8%と低く、「読んだことがない」52.2%と高くなっています。20歳代でも、「読んだことがある」33.3%と低く、「県や市町村の広報紙を見たことがない」28.7%と高くなっています。18～19歳では、「読んだことがある」33.3%と低く、「県や市町村の広報紙を見たことがない」37.0%と高くなっています。



人権関係の講演会・研修会等に11回以上参加した人で、「読んだことがある」90.0%と高く、「読んだことがない」3.3%と低くなっています。5～10回参加した人でも、「読んだことがある」85.3%と高く、「読んだことがない」11.8%と低くなっています。1～4回参加した人も、「読んだことがある」72.4%と高く、「読んだことがない」21.8%と低くなっています。1回も参加したことがない人で、「読んだことがある」48.0%と低く、「読んだことがない」39.2%と高く、「県や市町村の広報紙を見たことがない」11.8%と高くなっています。

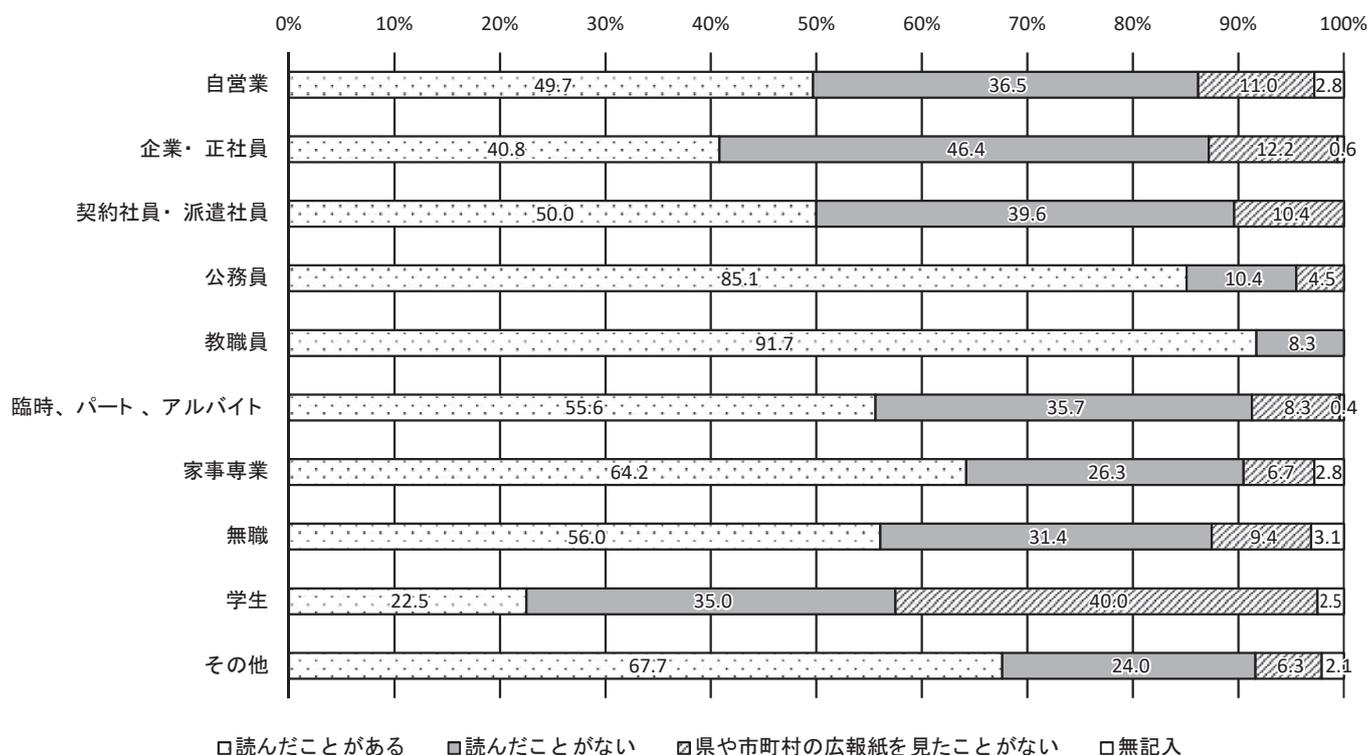
問1-9 県や市町村が出している広報紙の人権に関する記事を読んだことがあるか

× 問1-10 人権に関する映画やテレビの視聴有無



人権に関する映画やビデオ、テレビ番組、ラジオ放送を視聴したことがある人で、「読んだことがある」68.4%と高く、「読んだことがない」25.5%と低く、「県や市町村の広報紙を見たことがない」5.9%と低くなっています。視聴したことがない人で、「読んだことがある」41.7%と低く、「読んだことがない」43.0%と高く、「県や市町村の広報紙を見たことがない」14.1%と高くなっています。

問1-9 県や市町村が出している広報紙の人権に関する記事を読んだことがあるか × 職業



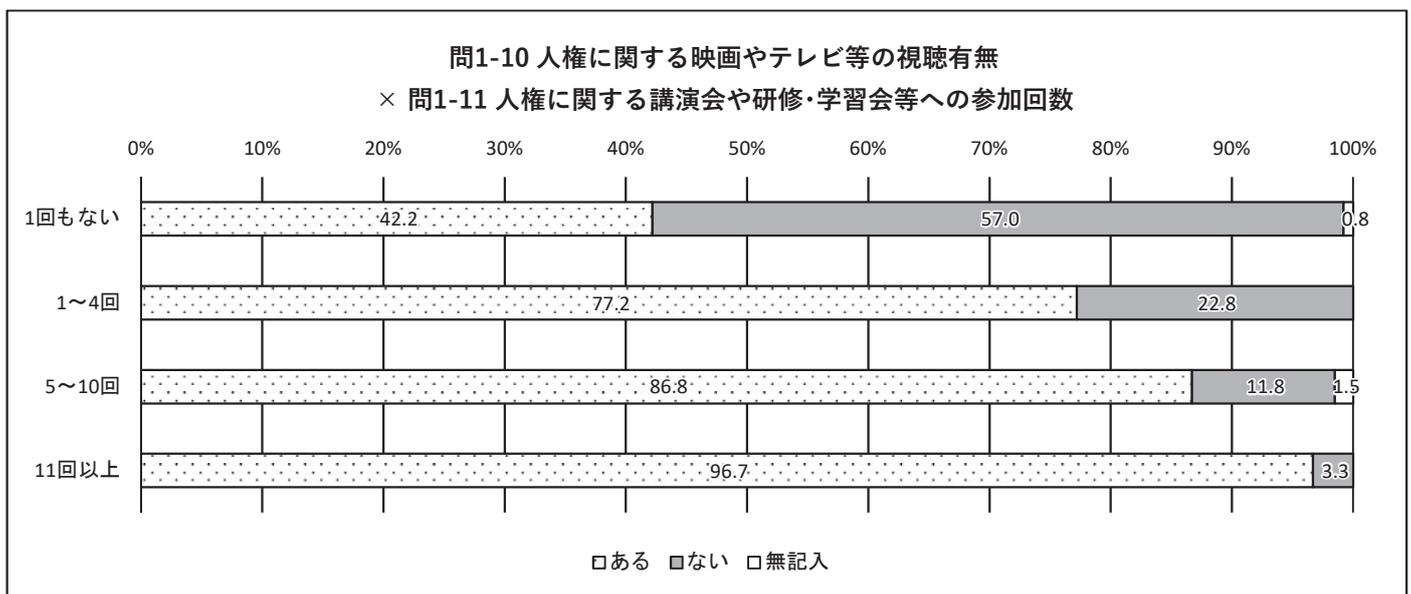
教職員で、「読んだことがある」91.7%と高く、「読んだことがない」8.3%と低く、「県や市町村の広報紙を見たことがない」0%と低くなっています。公務員で、「読んだことがある」85.1%と高く、「読んだことがない」10.4%と低くなっています。家事専業で、「読んだことがある」64.2%と高く、「読んだことがない」26.3%と低くなっています。その他で、「読んだことがある」67.7%と高く、「読んだことがない」24.0%と低くなっています。企業・団体の正社員・正規職員で、「読んだことがある」40.8%と低く、「読んだことがない」46.4%と高くなっています。学生で、「読んだことがある」22.5%と低く、「県や市町村の広報紙を見たことがない」40.0%と高くなっています。

問 1-10 この 5 年間で、人権に関する映画やビデオ、テレビ番組を見たり、ラジオ放送を聴いたりしたことがありますか

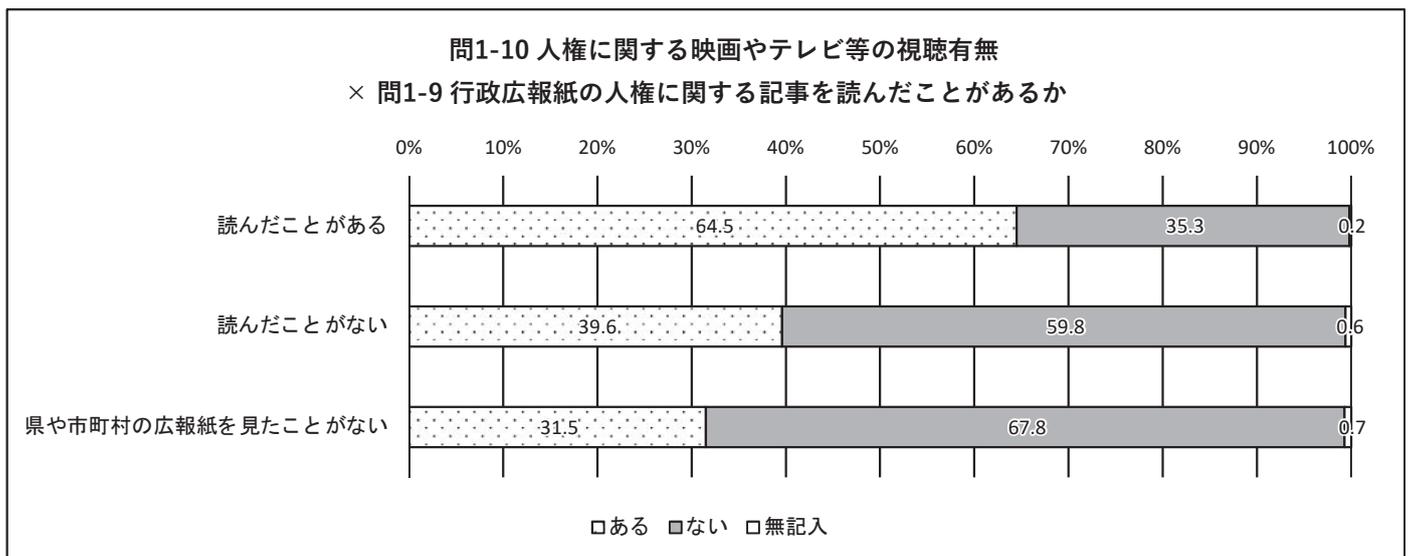
No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%	前回調査
1	ある	800	52.0	52.7	32.2
2	ない	717	46.6	47.3	64.5
	無記入	22	1.4		3.4
	N (%ベース)	1,539	100	1,517	1,996

「あなたは、この 5 年間で、人権に関する映画やビデオ、テレビ番組を見たり、ラジオ放送を聴いたりしたことがありますか。」について、「ある」800 人 52.0% (52.7%)、「ない」717 人 46.6% (47.3%)、「無記入」22 人 1.4%、となっています。( )内は無記入を除く%です。前回調査と比べると、「ある」が 19.8%高くなり、「ない」が 17.9%低くなっています。

10 の説明変数から問 1-10 を除く 9 の説明変数で分析します。多重相関は 0.410 でかなり関連が高く、有意なモデルです。性別と小学校での人権教育を除く、説明変数で有意です。人権に関する講演会や研修・学習会等への参加と広報紙の人権に関する記事を読んだことがあるかが高い関連性を持っています。次いで、高校での人権教育となっています。

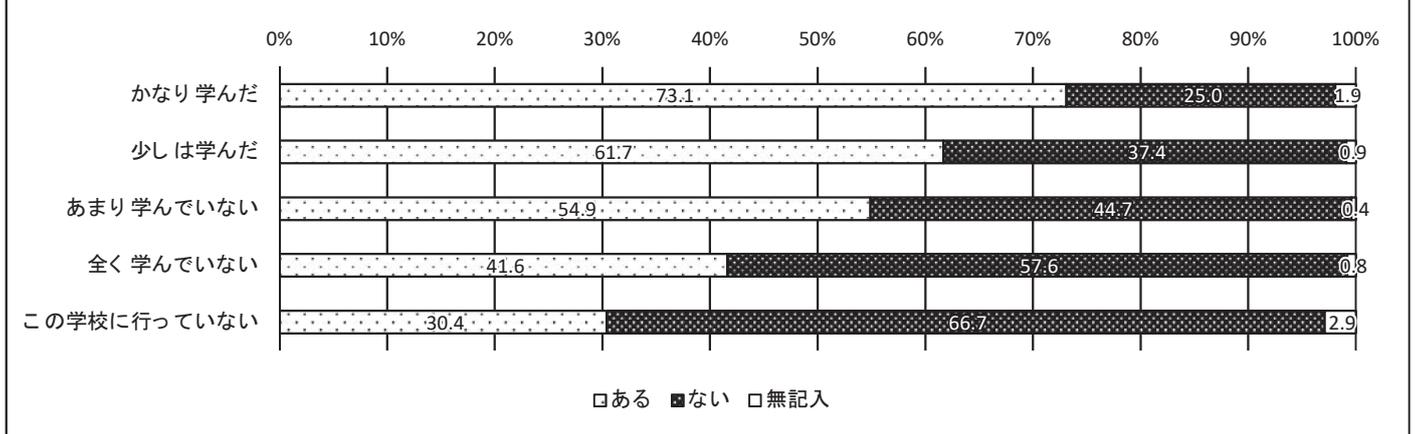


人権に関する講演会や研修・学習会等への参加が 1 回でもある人の 77.2%以上は、この 5 年間で、人権に関する映画やビデオ、テレビ、ラジオを視聴しています。参加したことがない人では 42.2%と低くなっています。



県や市町村の広報紙の人権に関する記事を読んだことがある人では、64.5%が人権に関する映画やビデオ、テレビ番組を見たり、ラジオ放送を視聴したことがあります。読んだことがない人では 39.6%、県や市町村の広報紙を見たことがない人では 31.5%と低くなっています。

問1-10 人権に関する映画やテレビ等の視聴有無 × 問9 (3) 高校での人権教育



高校での人権教育をかなり学んだ人で、73.1%が人権に関する映画やビデオ、テレビ、ラジオを視聴したことがあります。視聴したことがある人は、少しは学んだ人で61.7%、あまり学んでいない人で54.9%、全く学んでいない人で41.6%、この学校に行っていない人で30.4%と低くなっています。

問 1-11 この5年間で、人権に関する講演会や研修・学習会等に何回くらい参加しましたか

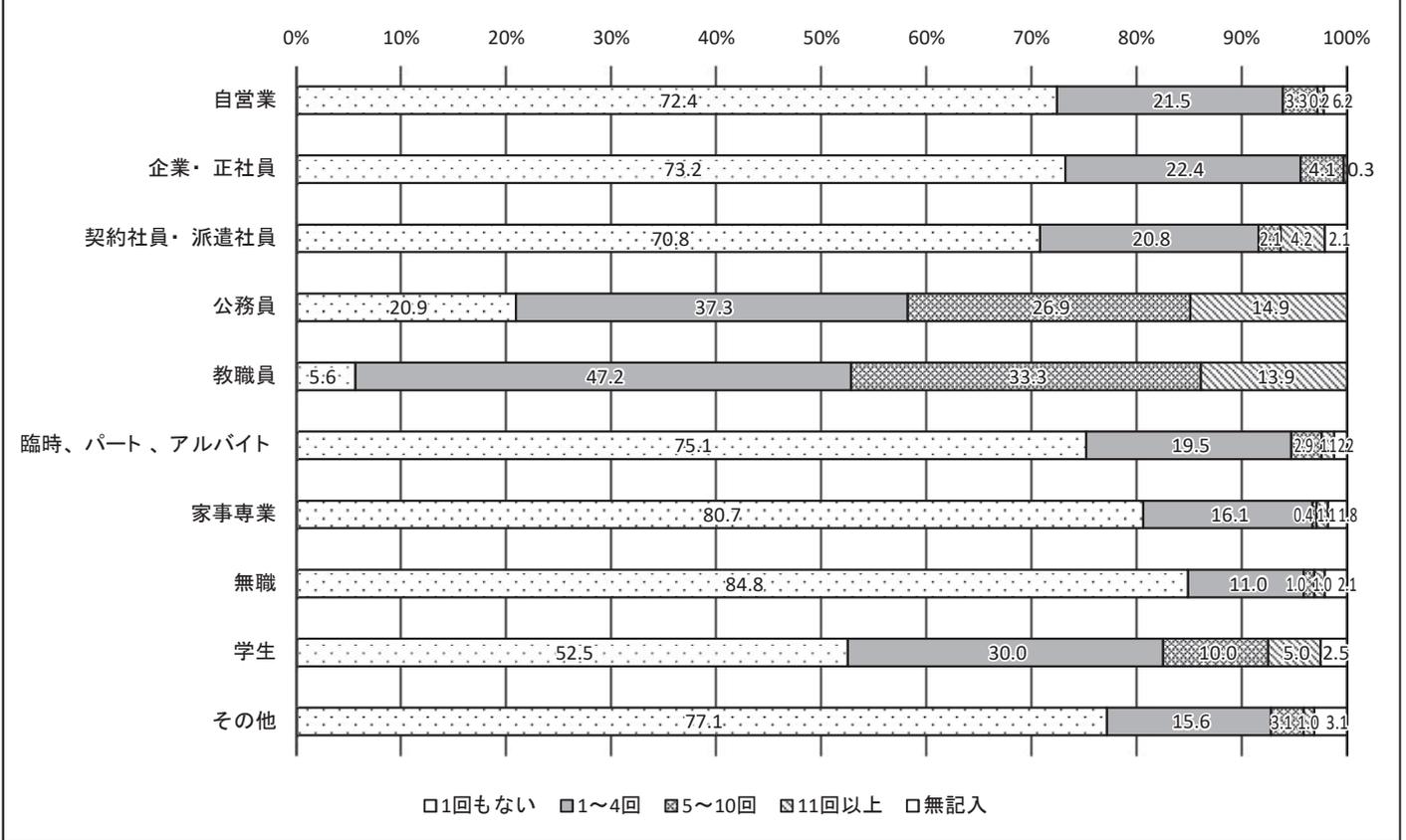
No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%	前回調査
1	1回もない	1,106	71.9	73.0	48.5
2	1~4回	312	20.3	20.6	35.4
3	5~10回	68	4.4	4.5	6.8
4	11回以上	30	1.9	2.0	9.4
	無記入	23	1.5		3.2
	N (%ベース)	1,539	100	1,516	1,996

「あなたは、この5年間で人権に関する講演会や研修・学習会等に何回くらい参加しましたか。」について、「1回もない」1,106人71.9%(73.0%)、「1~4回」312人20.3%(20.6%)、「5~10回」68人4.4%(4.5%)、「11回以上」30人1.9%(2.0%)「無記入」23人1.5%、となっています。( )内は無記入を除く%です。

前回調査から、「1回もない」が23.4%高くなり、「1~4回」が15.1%・「5~10回」が2.4%・「11回以上」が7.5%、「無記入」が1.7%低くなっています。

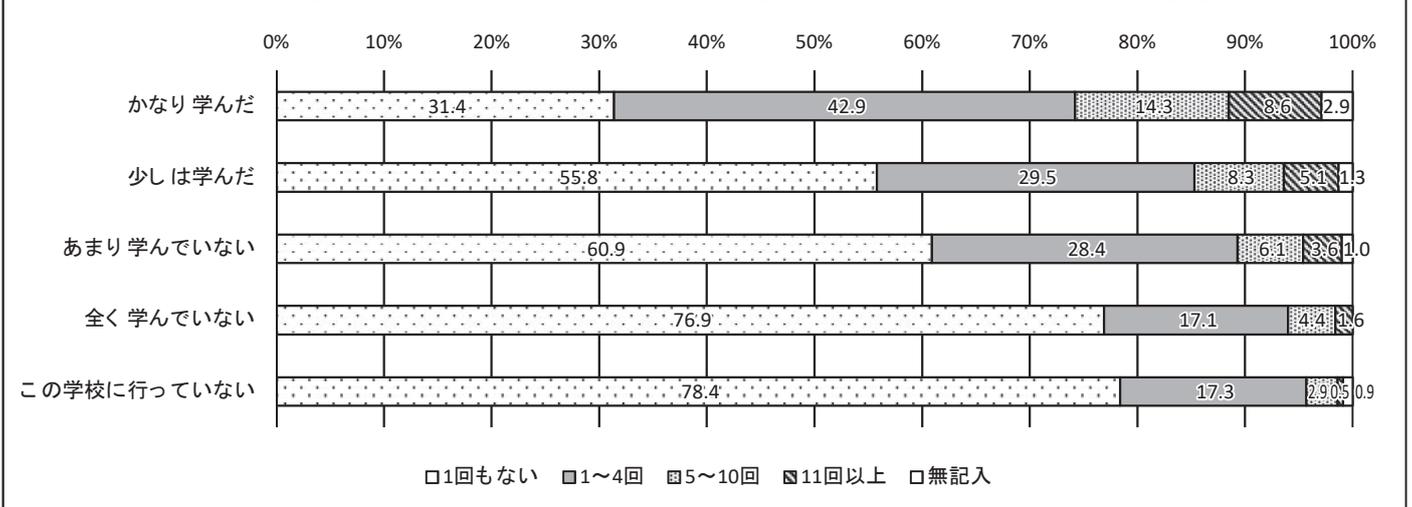
10の説明変数から問1-10を除く9の説明変数で分析します。多重相関は0.577でかなり関連が高く、有意なモデルです。性別を除く、説明変数で有意です。職業が大きな関連を持っています。ついで大学(短大・高専を含む)での人権教育、高校での人権教育、人権に関する映画やビデオ、テレビ、ラジオの視聴となっています。

問1-11 人権に関する講演会や研修・学習会等への参加回数 × 職業



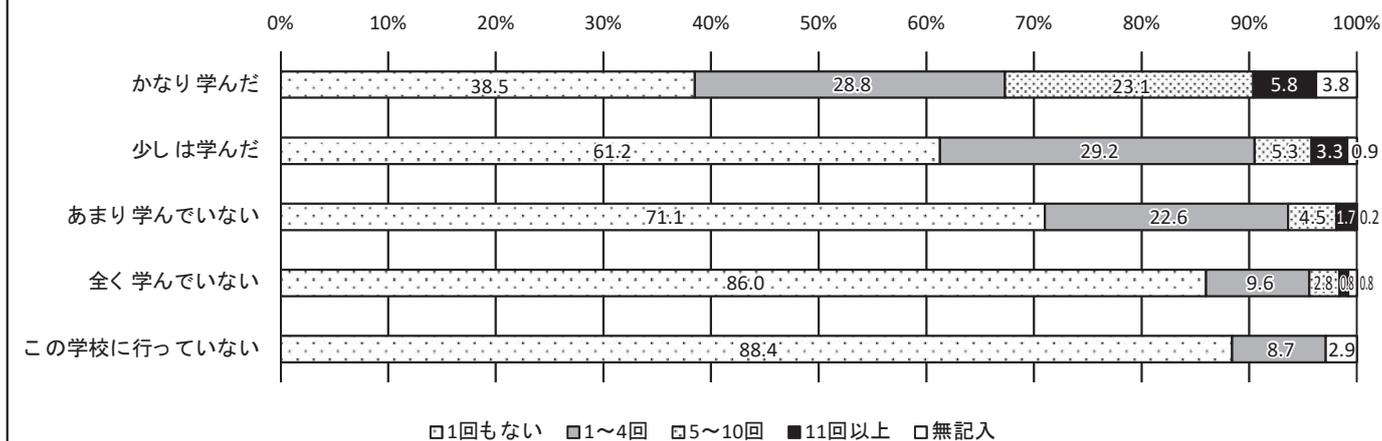
講演会・研修会等への参加が1回もないが教職員で5.6%と低く、ついで公務員で20.9%となっています。1回もないが次に学生で52.5%となっています。自営業、企業・団体の正社員・正規職員、企業団体の契約社員・職員、臨時・パート・アルバイトで7割以上が1回もないとなっています。家事専業、無職、その他で1回もないが多くなっています。教職員で47.2%、公務員で41.8%が5回以上参加となっています。

問1-11 人権に関する講演会や研修・学習会等への参加回数 × 問9 (4) 大学での人権教育



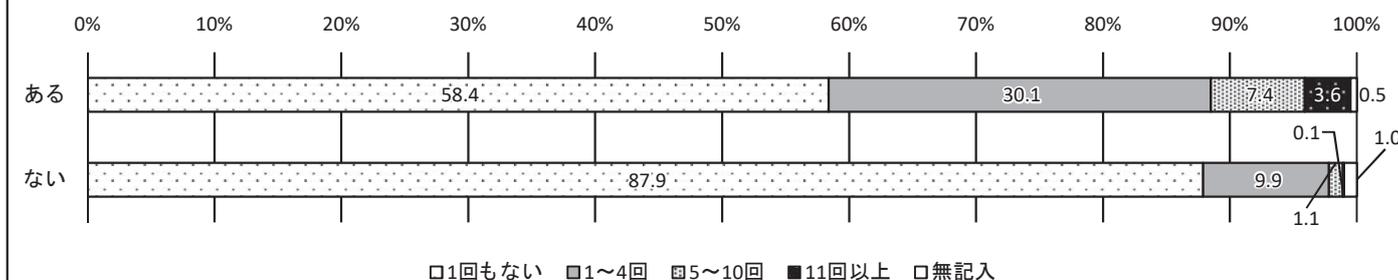
大学・短大等でかなり学んだ人で講演会・研修会等に1回も参加したことがないが31.4%、少しは学んだ人で55.8%、あまり学んでいない人で60.9%、全く学んでいない人で76.9%、この学校に行っていない人で78.4%となっています。

問1-11 人権に関する講演会や研修・学習会等への参加回数 × 問9 (3) 高校での人権教育



講演会・研修会等に1回も参加したことがないが、高校でかなり学んだ人で38.5%、少しは学んだ人で61.2%、あまり学んでいない人で71.1%、全く学んでいない人で86.0%、この学校に行っていない人で88.4%となっています。

問1-11 人権に関する講演会や研修・学習会等への参加回数  
× 問1-10 人権に関する映画やテレビの視聴有無



人権に関する映画やビデオ、テレビ、ラジオを視聴したことのある人で講演会研修会等に1回も参加したことがない人は58.4%、視聴したことのない人では87.9%となっています。視聴のある人で参加が1~4回が30.1%と高く、視聴したことのない人では9.9%と低くなっています。

問 1-12 人権の大切さを多くの人に知ってもらうには、どんな方法が効果的だと思いますか

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%	前回調査	全国調査
4	テレビ・ラジオ	897	58.3	59.6	51.4	67.5
1	講演会、研修会	456	29.6	30.3	36.2	22.6
6	新聞・雑誌・週刊誌	455	29.6	30.3	27.9	32.9
3	広報紙・ポスター	454	29.5	30.2	26.2	22.3
7	SNS・Eメール	393	25.5	26.1	17.0	49.5
5	映画・DVD	289	18.8	19.2	22.5	15.4
10	疑似体験	245	15.9	16.3	17.4	16.8
8	交通広告	239	15.5	15.9	13.1	23.8
12	意見交換会	233	15.1	15.5	18.4	18.2
11	障がい者等との交流会	227	14.7	15.1	18.5	23.5
2	写真等展示会	161	10.5	10.7	10.9	10.2
9	ワークショップ	147	9.6	9.8	9.0	7.3
13	その他	45	2.9	3.0	3.0	4.4
14	特にない	73	4.7	4.9	3.6	2.0
15	わからない	170	11.0	11.3	9.2	
	無記入	35	2.3		6.6	1.5
	N (%ベース)	1,539	100	1,504	1,996	1,556

「あなたは、人権の大切さを多くの人に知ってもらうには、どんな方法が効果的だと思いますか(または、あなたならどれが良いですか)。(複数回答可)」について、1位「4.テレビ・ラジオを利用した啓発広報」897人 58.3%(59.6%)、2位「1.講演会、シンポジウム、研修会」456人 29.6%(30.3%)、3位「6.新聞・雑誌・週刊誌を利用した啓発広報」455人

29.6%(30.3%)、4位「3.広報紙・パンフレット・ポスター」454人 29.5%(30.2%)、5位「7.SNS・Eメール(メールマガジン等)を利用した啓発広報」393人 25.5%(26.1%)、6位「5.映画・DVDを利用した啓発広報」289人 18.8%(19.2%)、7位「10.高齢化や障がいの擬似(ぎじ)体験」245人 15.9%(16.3%)、8位「8.交通広告(電車やバス等の車内広告や車体広告、駅での広告等)」239人 15.5%(15.9%)、9位「12.自由な意見の交換ができる会合」233人 15.1%(15.5%)、10位「11.高齢者・障がい者・外国人等との交流会」227人 14.7%(15.1%)、11位「2.展示会(資料、写真等)」161人 10.5%(10.7%)、12位「9.ワークショップ(参加者による少人数の討論会や参加体験型学習等)」147人 9.6%(9.8%)、13位「13.その他」45人 2.9%(3.0%)、14位「14.特にない」73人 4.7%(4.9%)、15位「15.わからない」170人 11.0%(11.3%)、16位「無記入」35人 2.3%、となっています。( )内は無記入を除く%です。

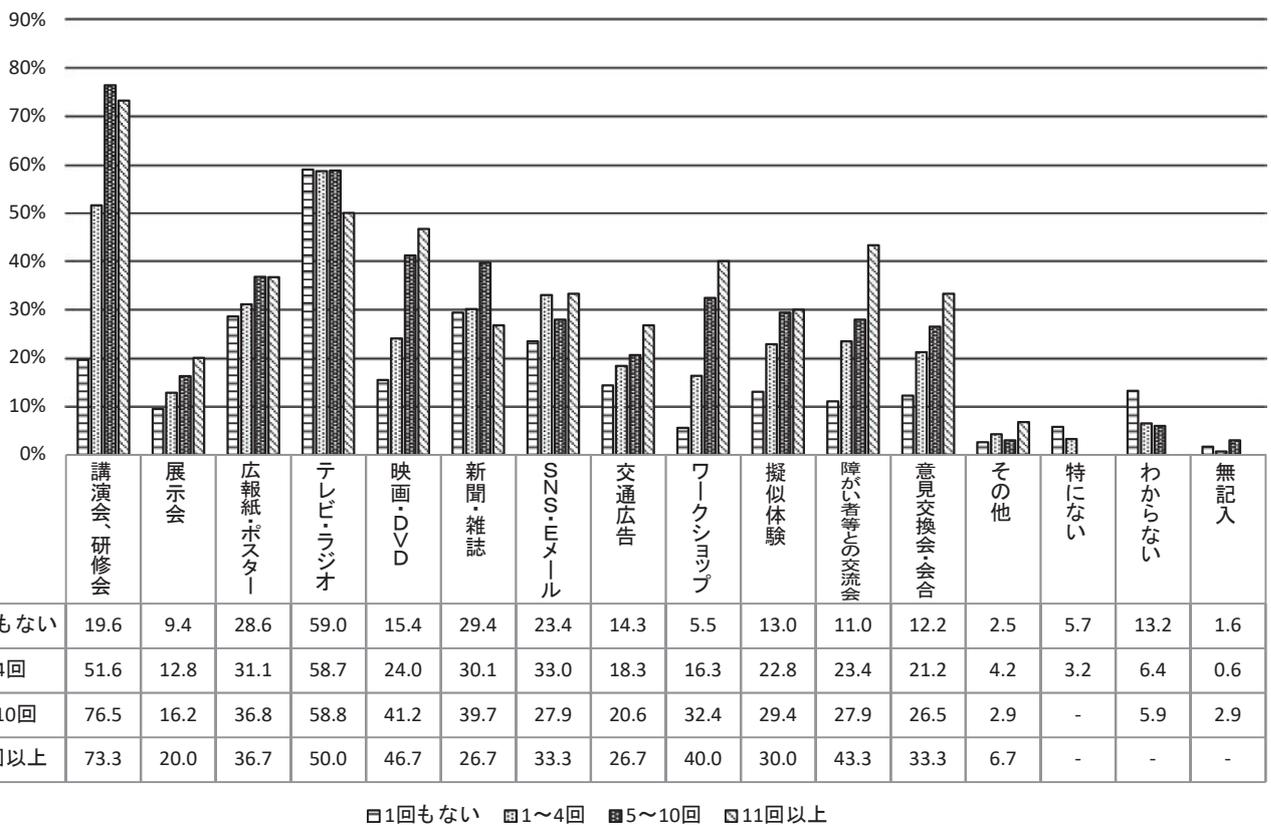
前回調査と比べ、5位「7.SNS・Eメール(メールマガジン等)を利用した啓発広報」が8.5%、1位「4.テレビ・ラジオを利用した啓発広報」が6.9%、4位「3.広報紙・パンフレット・ポスター」が3.3%高くなっています。2位「1.講演会、シンポジウム、研修会」が6.6%、7位「10.高齢化や障がいの擬似(ぎじ)体験」が1.5%、6位「5.映画・DVDを利用した啓発広報」が3.7%、9位「12.自由な意見の交換ができる会合」が3.3%低くなっています。

全国調査と比べ、4位「3.広報紙・パンフレット・ポスター」が7.2%、2位「1.講演会、シンポジウム、研修会」が7.0%、6位「5.映画・DVDを利用した啓発広報」が3.4%高くなっています。5位「7.SNS・Eメール(メールマガジン等)を利用した啓発広報」が24.0%、1位「4.テレビ・ラジオを利用した啓発広報」が9.2%、7位「10.高齢化や障がいの擬似(ぎじ)体験」が0.9%、8位「8.交通広告(電車やバス等の車内広告や車体広告、駅での広告等)」が8.3%、3位「6.新聞・雑誌・週刊誌を利用した啓発広報」が3.3%、9位「12.自由な意見の交換ができる会合」が3.1%低くなっています。

「展示会(資料、写真等)」と「その他」は、10の説明変数との関連がありません。人権に関する講演会や研修・学習会等への参加、年齢、広報紙の人権に関する記事を読んだことがあるか、大学(短大・高専)での人権教育との関連性が高いようです。

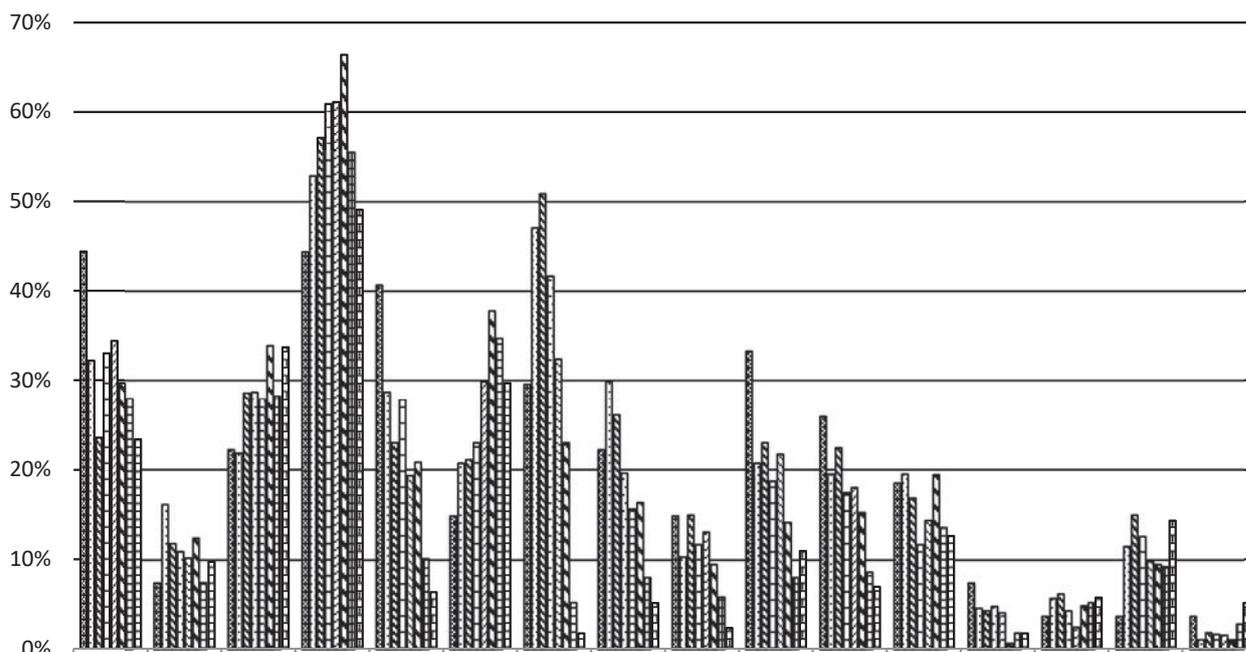
### 問1-12 人権の大切さを多くの人に知ってもらうために効果的な方法

× 問1-11 人権に関する講演会や研修・学習会等への参加回数



人権に関する講演会や研修・学習会等に参加している人ほど「講演会、シンポジウム、研修会」、「ワークショップ(参加者による少人数の討論会や参加体験型学習等)」、「高齢化や障がいの擬似(ぎじ)体験」、「自由な意見の交換ができる会合」などを選択する割合が高くなっています。

問1-12 人権の大切さを多くの人に知ってもらうために効果的な方法×年齢



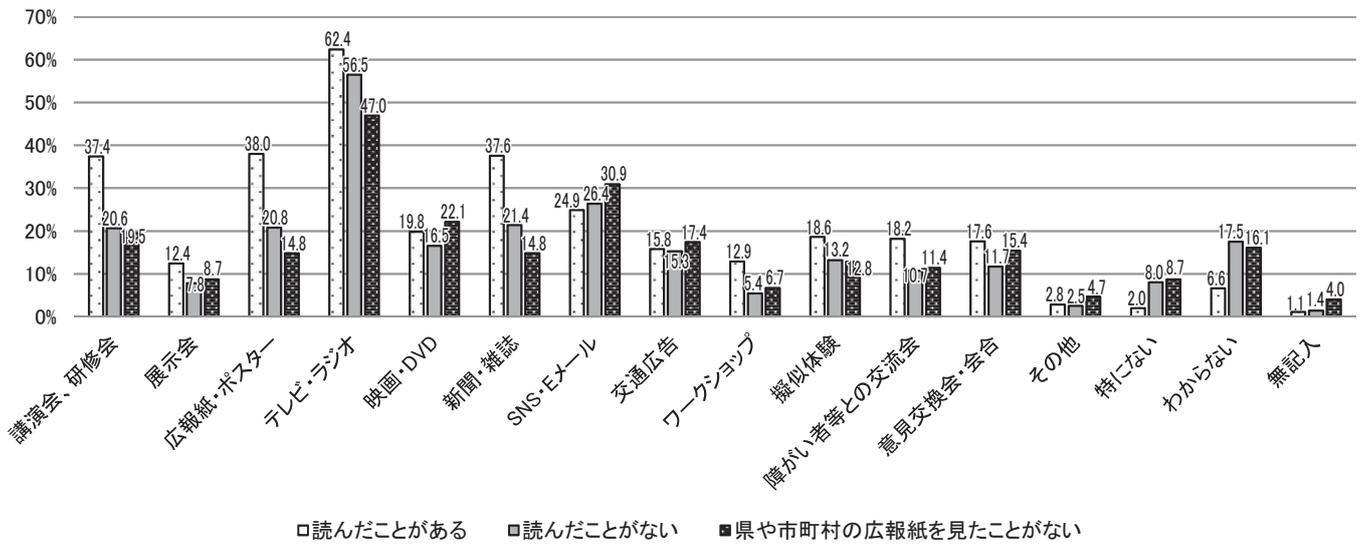
	講演会、研修会	展示会	広報紙・ポスター	テレビ・ラジオ	映画・DVD	新聞・雑誌	SNS・Eメール	交通広告	ワークショップ	疑似体験	障がい者等との交流会	意見交換会・会合	その他	特にない	わからない	無記入
■ 18～19歳	44.4	7.4	22.2	44.4	40.7	14.8	29.6	22.2	14.8	33.3	25.9	18.5	7.4	3.7	3.7	3.7
□ 20～29歳	32.2	16.1	21.8	52.9	28.7	20.7	47.1	29.9	10.3	20.7	19.5	19.5	4.6	5.7	11.5	1.1
■ 30～39歳	23.6	11.8	28.6	57.1	23.0	21.1	50.9	26.1	14.9	23.0	22.4	16.8	4.3	6.2	14.9	1.9
□ 40～49歳	33.0	10.9	28.7	60.9	27.8	23.0	41.7	19.6	11.7	18.7	17.4	11.7	4.8	4.3	12.6	1.7
■ 50～59歳	34.4	10.2	27.9	61.1	19.3	29.9	32.4	15.6	13.1	21.7	18.0	14.3	4.1	2.5	9.8	1.6
■ 60～69歳	29.7	12.4	33.9	66.4	20.8	37.8	23.0	16.3	9.5	14.1	15.2	19.4	0.7	4.9	9.5	1.1
■ 70～79歳	27.9	7.4	28.2	55.5	10.1	34.7	5.2	8.0	5.8	8.0	8.6	13.5	1.8	5.2	9.2	2.8
■ 80歳以上	23.4	9.7	33.7	49.1	6.3	29.7	1.7	5.1	2.3	10.9	6.9	12.6	1.7	5.7	14.3	5.1

■ 18～19歳 □ 20～29歳 ■ 30～39歳 □ 40～49歳 ■ 50～59歳 ■ 60～69歳 ■ 70～79歳 □ 80歳以上

年齢では、「テレビ・ラジオを利用した啓発広報」、「映画・DVDを利用した啓発広報」、「新聞・雑誌・週刊誌を利用した啓発広報」、「SNS・Eメール(メールマガジン等)を利用した啓発広報」、「交通広告(電車やバス等の車内広告や車体広告、駅での広告等)」、「高齢化や障がいの疑似(ぎじ)体験」、「高齢者・障がい者・外国人等との交流会」、「自由な意見の交換ができる会合」で有意な差があります。

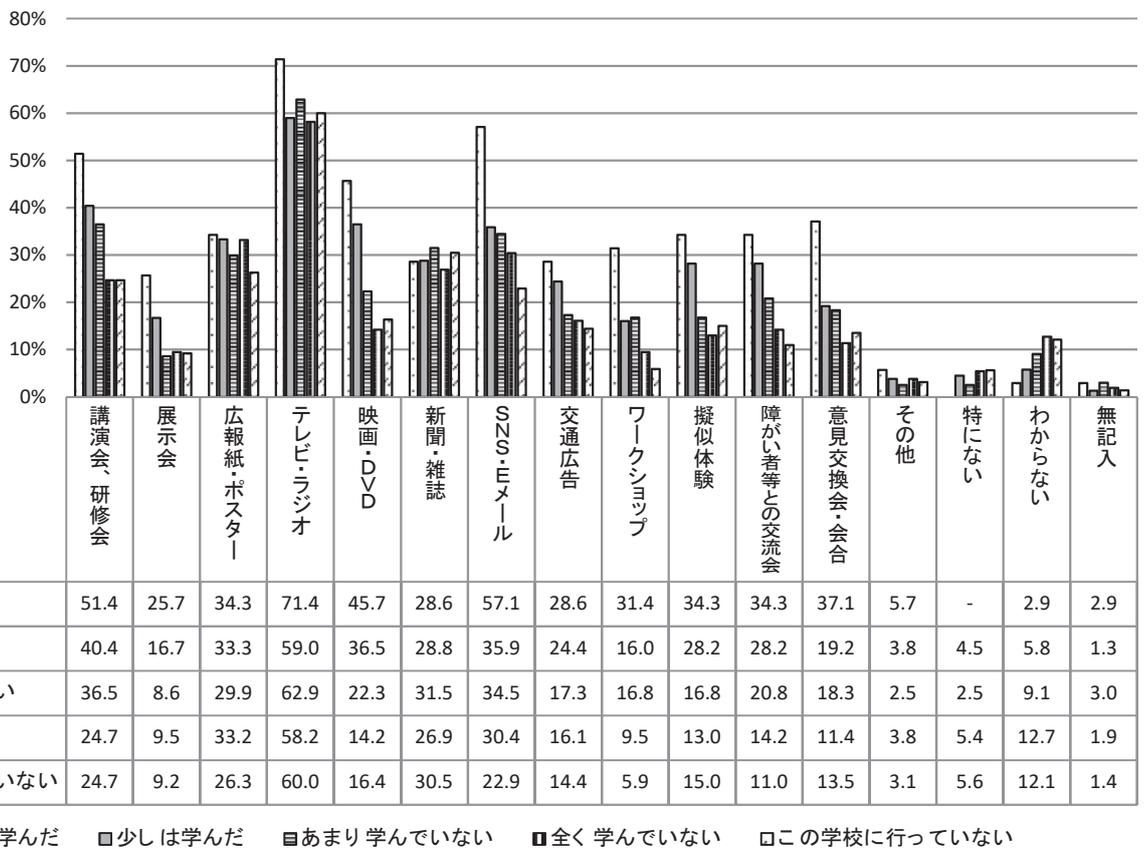
「SNS・Eメール(メールマガジン等)を利用した啓発広報」は30歳代で50.9%・20歳代で47.1%・40歳代で41.7%と高くなっています。「高齢化や障がいの疑似(ぎじ)体験」は、18～19歳で33.3%、30歳代で23.0%、20歳代で20.7%と高くなっています。「交通広告(電車やバス等の車内広告や車体広告、駅での広告等)」で20歳代29.9%、30歳代26.1%、18～19歳22.2%となっています。「映画・DVDを利用した啓発広報」は18～19歳40.7%、20歳代28.7%、30歳代23.0%、40歳代27.8%と高くなっています。「高齢者・障がい者・外国人等との交流会」は18～19歳25.9%、20歳代19.5%、30歳代22.4%と高くなっています。「テレビ・ラジオを利用した啓発広報」は40歳代60.9%、50歳代61.1%、60歳代66.4%と高くなっています。「新聞・雑誌・週刊誌を利用した啓発広報」は60歳代37.8%、70歳代34.7%と高くなっています。「自由な意見の交換ができる会合」は20歳代19.5%、18～19歳18.5%と高くなっています。

問1-12 人権の大切さを多くの人に知ってもらうために効果的な方法  
 ×問1-9 行政広報紙の人権に関する記事を読んだことがあるか



広報紙を読んだことがある人で、広報紙・パンフレット・ポスター38.0%、新聞・雑誌・週刊誌を利用した啓発広報 37.6%と高くなっています。

問1-12 人権の大切さを多くの人に知ってもらうために効果的な方法  
 ×問9 (4) 大学での人権教育



大学・短大等でかなり学んだ人で、「ワークショップ(参加者による少人数の討論会や参加体験型学習等)」が 31.4%、「高齢化や障がいの疑似(ぎじ)体験」が 34.3%、「高齢者・障がい者・外国人等との交流会」が 34.3%と高くなっています。